

あきた農山漁村活性化推進会議

「AKITA RAISE」

日 時 令和5年7月20日（木）
場 所 （資料配付）

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 内 容

（１）令和5年度国事業（総務省関係）の概要について

（２）県の推進方針について

（３）情報提供

半農半Xを切り口とした農山漁村活性化人材の確保

八峰町農林振興課 副課長 門脇朝哉 氏

農村型地域運営組織（農村RMO）形成に向けた新たな取組

藤里町農林課 主 査 加藤祐也 氏

（４）意見交換 ※資料配付のみとしたことから中止

〔テーマ〕農山漁村地域の活性化の進め方について

4 そ の 他

5 閉 会

※ 配付資料

資料1 令和5年度の地域政策課の施策について（総務省）

資料2 県の推進方針と重点事業（地域づくり推進課）

資料3 県の推進方針と重点事業（農山村振興課）

資料4 情報提供（八峰町）

資料5 情報提供（藤里町）

令和5年度の地域政策課の施策について

地域政策課長
西中 隆

「全国都道府県・政令指定都市地域力創造担当課長・市町村課長会議」資料より

令和5年度 地域力創造グループ施策 予算の概要

1. 脱炭素に向けたエネルギーの地産地消の推進 ・地域資源を活かした地域の雇用創出

【主な経費】

地域経済循環創造事業交付金	5.8億円
- ローカル10,000プロジェクト	
- 分散型エネルギーインフラプロジェクト	
- 地域の脱炭素を担う人材の支援	

2. 地域おこし協力隊の強化等

【主な経費】

地域おこし協力隊の推進に要する経費	2.1億円
「移住・交流情報ガーデン」の運営等に要する経費	0.9億円
都市・農山漁村の地域連携による子供農山漁村交流推進事業	0.2億円
ふるさとワーキングホリデー推進事業	0.3億円
サテライトオフィス・マッチング支援事業	0.1億円
関係人口を活用した地域の担い手確保事業	0.1億円
JET地域国際化塾の開催に要する経費	0.1億円

3. 地域コミュニティを支える地域運営組織への支援

【主な経費】

地域運営組織の形成及び持続的な運営に要する経費	0.3億円
-------------------------	-------

4. 過疎法に基づく過疎対策の推進

【主な経費】

過疎地域持続的発展支援事業 等	4.0億円
過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業	4.0億円

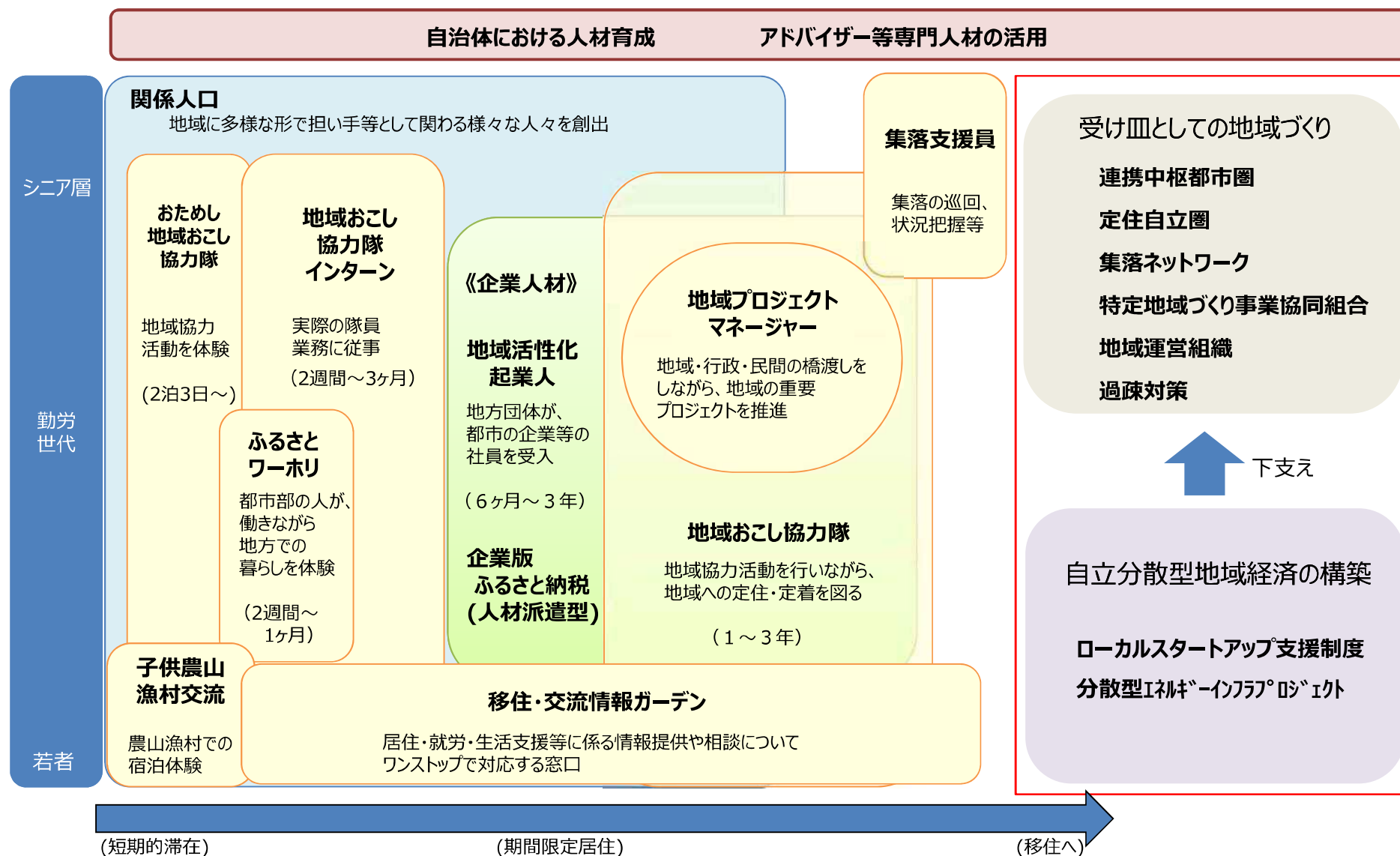
5. 自治体DXの推進

【主な経費】

自治体DXの推進体制の構築等に要する経費	1.2億円
----------------------	-------

合計22.3億円

地域力創造Gの地域活性化施策について（人材の確保支援等）



自治体DX・地域DXの推進

地域の国際化の推進

「全国都道府県・政令指定都市地域力創造担当課長・市町村課長会議」資料より

地域運営組織の形成・運営

R5 予算額 0.3億円

概要

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。

※853市区町村で、おおむね小学校区単位に7,207団体が形成（令和4年度調査）

地域運営組織に対する支援等

○地域運営組織に関する調査研究

- ・実態把握調査
- ・先進事例調査
- ・自治体職員向け地域別研修会の開催
- ・形成促進に向けた研修用テキスト、ワークショップの手引き作成 等

○全国セミナー（仮称）

- ・国の施策説明、有識者の講演、先進団体の事例発表等を通じ、自治体職員や関係者等の学びの機会を創出

○地方財政措置（普通交付税・特別交付税）

- 1.住民共助による見守り・交流の場や居場所づくり等への支援【市町村】
 - （1）地域運営組織の運営支援
 - （2）住民共助による見守り・交流の場や居場所づくり等への支援
- 2.地域運営組織の経営力支援【都道府県及び市町村】



地域運営組織の活動事例

（特非）きらりよしじまネットワーク（山形県川西町）

- ・高齢者のふれあいサロンや児童クラブ事業など住民の生活支援活動を実施。
- ・コンビニの休憩スペースを利用した産直朝市を実施し、地元農産物の販売を積極的に行っている。



（特非）ほほえみの郷トイトイ（山口県山口市）

- ・移動手段のない高齢者や、一人暮らしで不安を抱えている高齢者をターゲットに、生活に必要な食料や日用品を届ける移動販売サービスを実施。
- ・移動販売車による地域内巡回は、買い物支援のみならず、高齢者の見守りの機能も果たしている。



地域運営組織の設立・運営に関する地方財政措置（概要）

<令和4年度> ※孤独・孤立対策として下線を対象経費に追加

1. 住民共助による見守り・交流の場や居場所づくり等への支援【市町村】

地域運営組織の運営支援や住民共助による見守り・交流の場や居場所づくり等への支援に要する経費

（1）地域運営組織の運営支援

- ① 運営支援（措置対象：事務局人件費 等）…普通交付税
- ② 形成支援（措置対象：ワークショップ開催に要する経費 等）…特別交付税

（2）住民共助による見守り・交流の場や居場所づくり等への支援

（措置対象：高齢者交流、声かけ・見守り、買物支援、弁当配達、登下校時の見守り、交流事業（子育て、親子、多世代）、子ども食堂、学習支援、相談の場に要する経費 等）…普通交付税

※ 1 は、R3年度「地域のくらしを支える住民共助の仕組みづくりの推進」から項目名変更を行うこととしている。

※(1)①及び(2)において、普通交付税算定額を上回る経費について、特別交付税による措置を講ずる。

2. 地域運営組織の経営力強化支援【都道府県及び市町村】

自主事業の実施による収入の確保等地域運営組織の経営力強化に要する経費

（措置対象：研修、設備導入、販路開拓に要する経費 等）…特別交付税

R5 予算額 4.0億円

- 「集落ネットワーク圏」（小さな拠点）において、生活支援や「なりわい」の創出等の地域課題の解決に資する取組を幅広く支援（特に専門人材やＩＣＴ等技術を活用する場合には上乗せ支援）。

(1) 対象地域	過疎地域をはじめとした条件不利地域
(2) 事業主体	集落ネットワーク圈を支える中心的な組織 (地域運営組織等)
(3) 対象事業	集落機能の維持・活性化プランに基づく取組
(4) 交付対象経費の限度額	1,500万円 (定額補助)

※下記事業については、限度額を上乗せ

- ①専門人材を活用する事業 (+500万円)
- ②ICT等技術を活用する事業 (+1,000万円)
- 上記(①+②)併用事業 (+1,500万円)

特産品開発、観光振興、地域交通、地域人材育成、移住定住促進、ICT技術等に関する専門的知識を有するアドバイザー、事業者 等

ドローンを活用した買物支援、センサーを用いた鳥獣被害対策、対話型アプリを活用した高齢者の見守り、オンラインによる学習環境整備 等

アプリによる
デマンドバスの予約

地域課題解決に資する専
門人材の活用

A集落

センサーを活用した
鳥獣被害対策

基幹集落

B集落

C集落

D集落

アプリ等を活用した
高齢者の買い物支援

(地域内外)

役場所在地

スマート農業の推進

※範囲は、新旧小学校区、旧町村等を想定

梅内聚落ネットワーク圏活性化事業(秋田県能代市)

【事業背景】

R5.3月末時点

○ニツ井町梅内地区は、唯一の市の公共施設であった子育て支援センターが遊休施設となった後、施設を拠点として地域課題の解決、森林や山菜などの豊富な地域資源の活用に取り組んでいる。

【事業実施主体】能代市

【R4交付金活用額】15,000円

【取組内容】

【令和4年度に実施した事業】

- 除雪機の講習会による除排雪の担い手の拡充
- 里山の恵み体験イベント(森林の手入れ体験や山菜等の知識・料理教室、そば打ち体験、だまこもち作成の体験などのメニュー)
- 里山の恵み体験ツアー(郷土芸能の撮影・配信、梅内地域や梅内聚落の取組の紹介)

【取組の概念図、写真等】



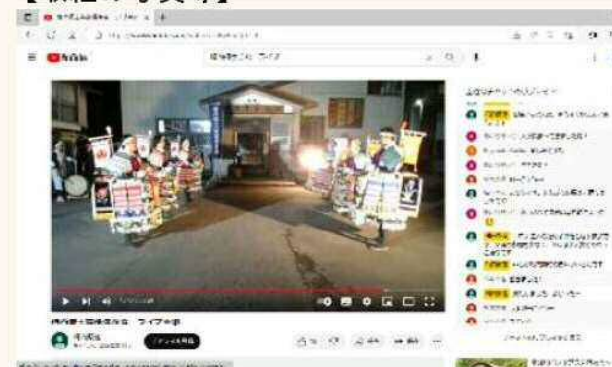
除雪機講習会

【取組の写真等】



森林の手入れ体験

【取組の写真等】



郷土芸能オンライン配信

【成果、工夫点(令和4年度)】

- 除雪機の講習会を実施した。講習を受けた住民が近隣のバス停やゴミステーション等の除排雪をするようになった。
- 森林の手入れ体験や山菜等の知識・料理教室では、実施にあたり担い手の獲得につながった。
- 郷土芸能をオンラインで配信した。YouTubeのライブ配信→Zoomでの交流とし、地域外へ転出した方々などから多数のコメントをいただいた。

【令和5年度実施予定の取組】

- 梅内冷泉を活用したテントサウナイベントや豪雪地帯であることを利用した除排雪体験の実施
- 木工品の製作者を増やす取組(地域内外への講習会の実施 など)

「梅内聚落資料」

梅内聚落事業(秋田県能代市梅内地区)

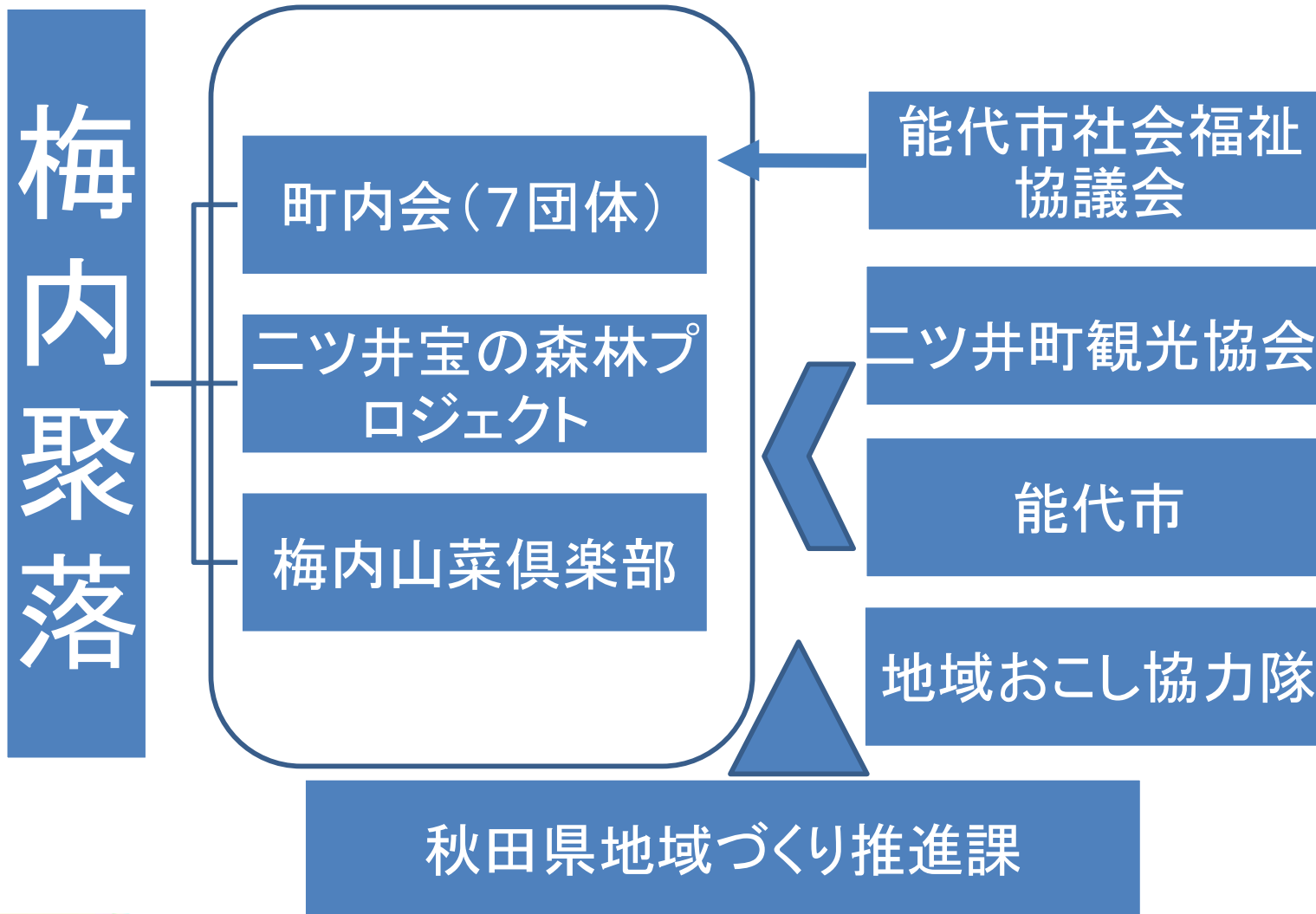
【実施体制】R4年度

R4.7時点

実施主体

協力団体

支援団体



【実施体制】R5年度

変更なし

「梅内聚落資料」

特定地域づくり事業協同組合制度

R5 予算額 5.6億円
(内閣府予算計上)

根拠法：地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律（令和2年6月4日施行）

人口急減地域の課題

- ・事業者単位で見ると年間を通じた仕事がない
 - ・安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保できない
- ⇒人口流出の要因、Uターン・Jターンの障害

特定地域づくり事業協同組合制度

- ・地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出
 - ・組合で職員を雇用し事業者に派遣
(安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保)
- ⇒地域の担い手を確保

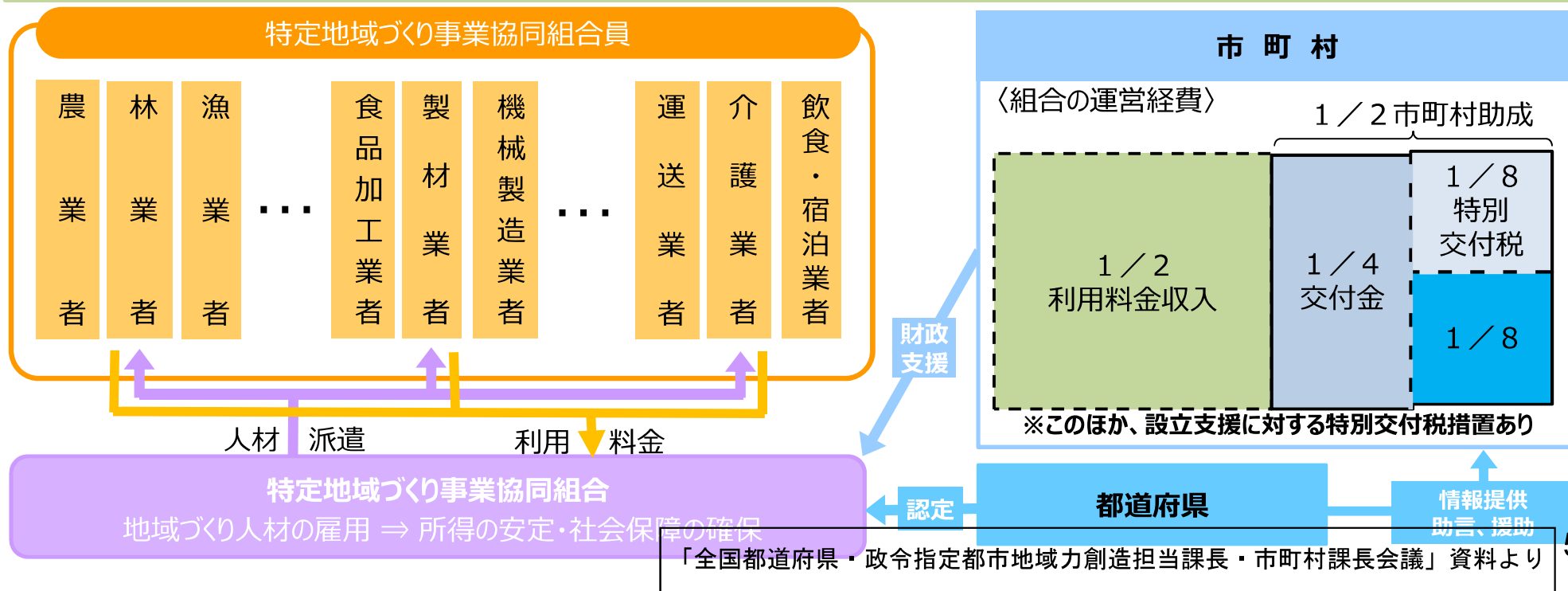
人口急減法の概要

対 象：人口規模・人口密度・事業所数等に照らし、人材確保に特に支援が必要な地区として知事が判断

※過疎地域に限られない

認定手続：事業協同組合の申請に基づき、都道府県知事が認定（10年更新制）

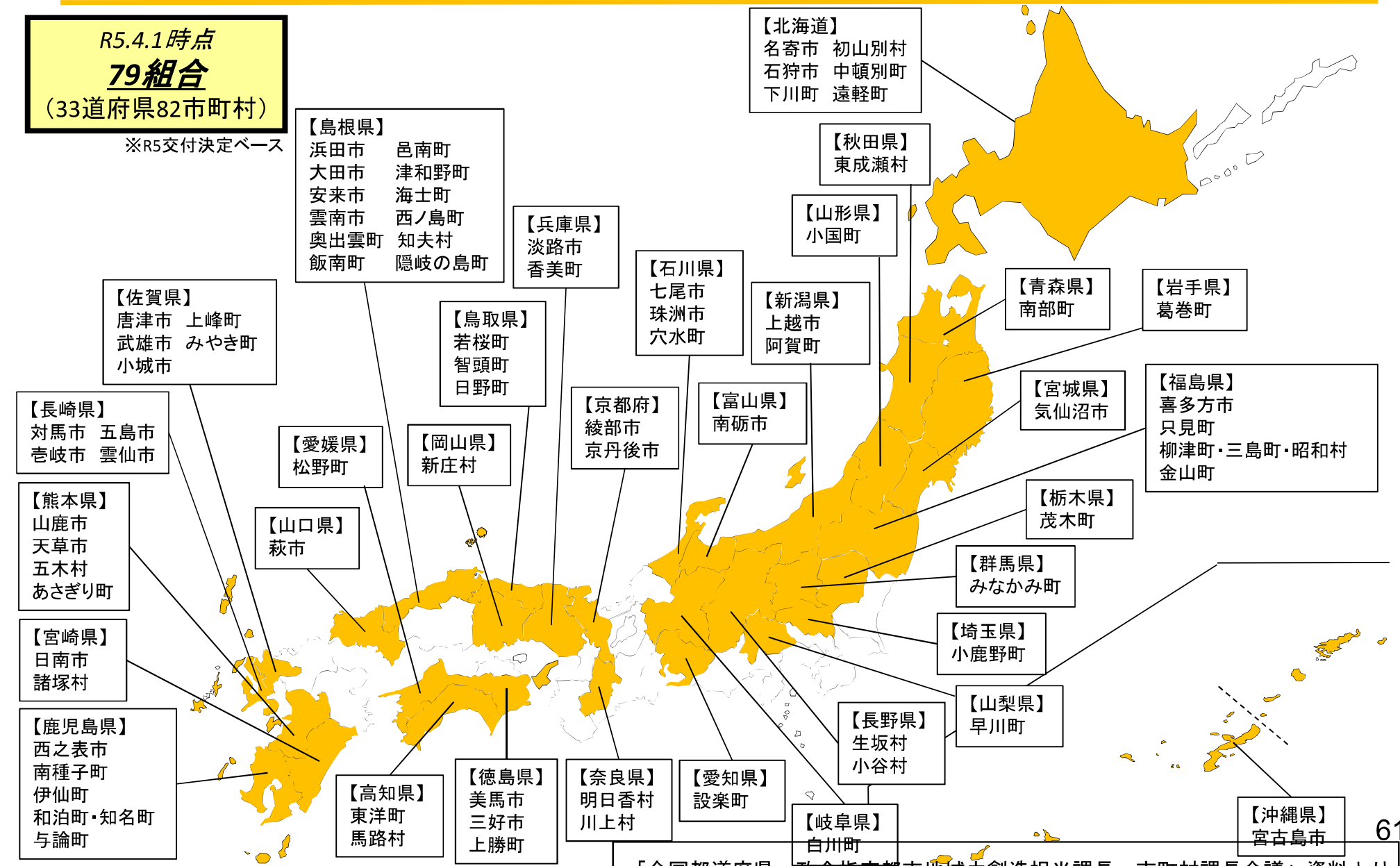
特例措置：労働者派遣法に基づく労働者派遣事業（無期雇用職員に限る）を届出で実施可能



特定地域づくり事業協同組合 都道府県別認定状況

R5.4.1時点
79組合
(33道府県82市町村)

※R5交付決定ベース

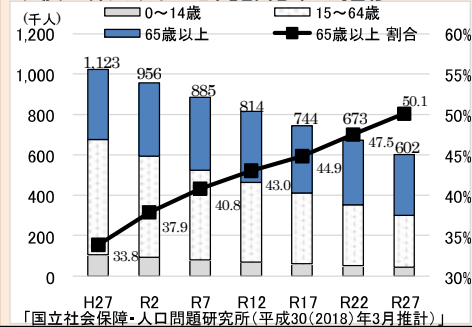


「全国都道府県・政令指定都市地域力創造担当課長・市町村課長会議」資料より

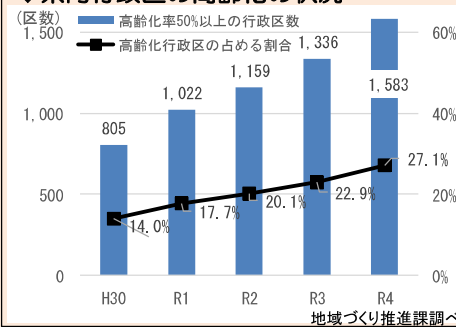
令和5年度 地域づくり推進課の概要について

地域の現状

◆秋田県の人口と高齢化率の推移

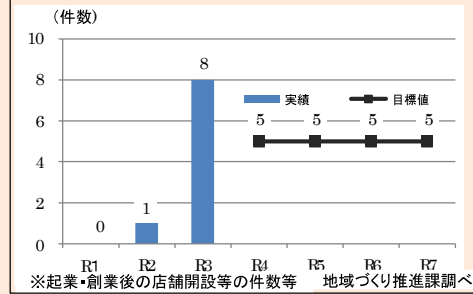


◆県内行政区の高齢化の状況

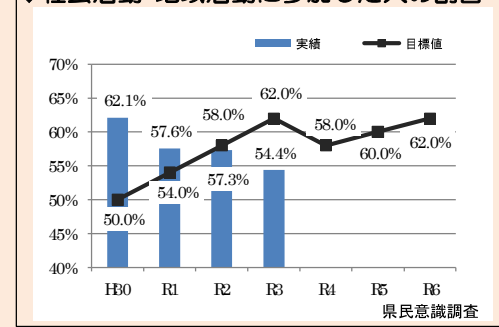


数値目標 (新秋田元気創造プラン)

◆若者による秋田県の活性化や地域貢献に資する取組件数※



◆社会活動・地域活動に参加した人の割合



課題

◆地域の活性化等に向けた関係人口の拡大が必要

◆伸び悩む若者の活躍

◆集落機能の低下

◆多様化・複雑化する地域課題への従来型対応の限界

◆適切な管理が行われていない空き家の増加

戦略4 未来創造・地域社会戦略

◆関係人口の拡大

- 新** 首都圏等在住者との交流等を通じた関係人口の受入態勢の整備
 - ・地域と関係人口が関わる魅力ある様々なコンテンツを「あきたの物語」として見える化
 - ・地域と関係人口との交流会の開催
- 首都圏等で活動する民間団体による関係人口の拡大に向けた取組への支援

◆若者のチャレンジへの支援

- 高校生等が主体的に地域と関わる取組への支援
 - ・高校生や大学生等が地域を主体的に考え、行動するための意識醸成やきっかけづくりを実施
- 新** 若者がアイデアを実現するために必要なスキルを身につける環境の整備
 - ・意欲ある若者の仲間づくりやスキルアップの場の提供
 - ・同じ志を持つもの同士による実践活動の展開等
- 拡** 夢の実現を目指す若者の戦略的な取組への支援
 - ・若者ならではの斬新な発想による先駆的な取組の支援
 - ・夢の実現に向けた専門家による伴走支援の実施

◆地域住民が主体となった地域コミュニティづくり

- 拡** 持続可能な集落対策の推進
 - ・人口減少下においても持続可能な地域コミュニティの形成に向けた住民や女性主体の取組への支援
- 地域住民自ら取り組む「元氣ムラ」活動の推進
 - ・県内の集落等が一堂に会した大交流会の開催
 - ・山菜等の地域資源を活用したG Bビジネスの活動体制強化と新規参画集落に対する立ち上げ支援

◆多様な主体による協働の推進

- 協働による地域づくりの推進
 - ・市民活動サポートセンターを中心とした市民活動の推進
 - ・各サポートセンターの連携強化
 - ・市民活動に関する情報発信
 - ・県民提案型による協働実践モデルの創出

基本政策2 生活環境

◆空き家対策の推進

○空き家の増加抑制や利活用の促進

- ・空き家相談会の開催
- ・メディアを活用した普及啓発
- ・市町村職員向け困難事案等対応力向上研修の実施
- ・空き家対策連絡会議の運営

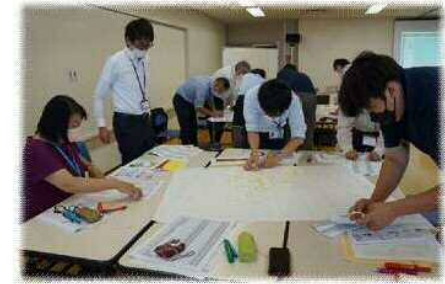
1) 県市町村連携支援体制強化事業

- ・持続可能な地域づくりを進めていく上で、地域の様々な団体等が参画した地域運営組織（RMO）の形成が有効であり、行政組織も分野を横断した支援が必要となることから、「秋田県地域コミュニティ政策推進協議会」の担当課以外の福祉や農林などの担当者も対象とした研修を開催する

①ファシリテーション研修

- ・地域の課題等を話し合う場合、ワークショップを取り入れるケースが多くなっており、話し合いをスムーズに進めるためのファシリテーション技術や計画づくりを行う上で効果的なPCM手法等について、対面で研修を実施する

○実施時期 令和5年4月～7月（全4回）
○講師 秋田ファシリテーション事務所
（平元美沙緒さん）



②地域づくり支援スキルアップ研修

- ・令和4年度に引き続き、地域づくりを進めていく上での支援スキルを向上していくための研修を実施する
- ・令和4年度は、一部市町村から福祉課や農林課、社会福祉協議会の方等にも参加いただいています

○実施時期 令和5年8月～10月（全3回）
○講師 都岐沙羅パートナーズセンター
（斎藤主税さん）

2) 地域づくり支援アドバイザー派遣事業

< 事業概要 >

- ・コミュニティ生活圏形成事業の横展開への支援
- ・地域運営組織の形成に向けた支援
- ・地域運営組織等が取り組む地域づくり活動に対する助言等

< 事業スキーム >

- ・市町村からアドバイザー派遣申請のあった地域に対して、県から業務委託された事業者が県内外の専門家をアドバイザーとして派遣する
- ・派遣するアドバイザーは地域の実情に応じて選定することとし、県と市町村、委託先の協議により決定する



地域で移動しやすい仕組み
をつくれないうだろうか？



女性や若い人たちが参加し
やすい仕組みをどうやって
作ったらよいだろうか？

3) 地域運営モデル支援事業

< 事業概要 >

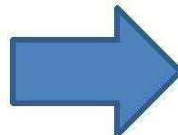
- ・ 地域運営組織等が地域課題の解決に向けて行う、廃校舎や空き家などの既存ストックを有効活用する取組や、企業や団体との連携により課題解決を図る取組など、他地域のモデルとなる先進的な取組を支援する

< 補助率等 >

- ・ 補助率 2 / 3
- ・ 限度額 200万円（事業費ベース 300万円）
- ・ 予算額 400万円（採択件数 2 件程度）→令和 5 年 7 月時点 2 件（秋田市、上小阿仁村）
- ・ 補助先 地域運営組織等、市町村（※）
※令和 5 年度より地域運営組織等と企業や団体との連携事業の場合、市町村からの委託事業も対象とする

< 採択事例 >

- ・ 自治体から譲渡を受けた保育施設を地域内外の交流と関係人口創出の場とするため、老朽化した調理室の床や給排水設備を改修した



4) 未来をつくるロカジョサークル応援事業（新規）

<事業内容>

- ・集落等における地域活動について女性の参画を推進するため、女性の視点から生まれる新たな活動へのアプローチやネットワークづくりを支援する。

<実施地域（フィールド）>

- ・女性の考え方やスキルを生かした地域活動が期待される集落等 令和5年度：能代市・仙北市・横手市

<対象者>

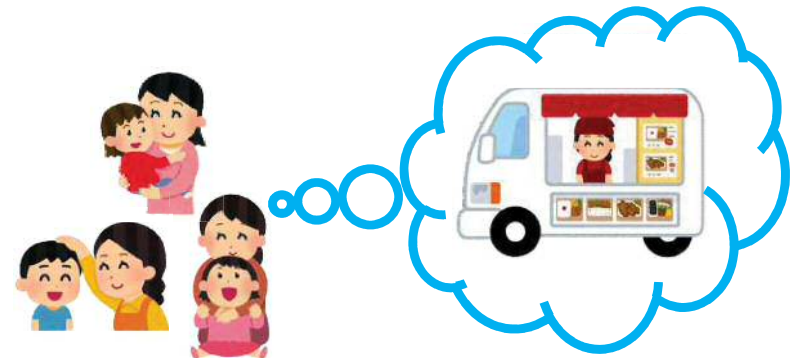
- ・地域活動に関心のある概ね20代～40代の女性

<令和5年度実施内容>

- ・交流会（各フィールド全3回）
- ・実践活動（各フィールド毎回）
- ・発表会（各フィールド1回）



地域の文化を生かしながら
他世代が行き交うマルシェを開催したい



グループになって、
子育て中の女性が活躍できる場所を作りたい

女性の一步を応援！

参加料
無料

Local Lady

ロカジョ サークル

新しいサークル活動はじめませんか？

ロカジョサークルでは、

女性の視点から生まれる新たな活動を応援します。

充実したサポート体制の元、交流会へ参加し実践体験することで、
新しいつながりができ、一歩踏みだすきっかけ作りができます。

※ロカジョ＝地域（ローカル）で活躍する女性を呼称する造語です。

ワークショップを
やりたい！！

フリーペーパーを
作りたい

読み聞かせ
サークルを
始めたい

県内3エリアで開催

説明会 参加者募集！

まずは、説明会に参加してみませんか！？

おひとりでも、友達同士でも、お気軽に参加ください！

対象者 概ね20代～40代の女性で地域活動に関心のある方

参加料 無料（ただし、交通費は自己負担）

能代
エリア

8/5
SAT

10:00～11:00

会場

TENOHA 能代
（旧常盤小中学校）

仙北
エリア

7/29
SAT

11:00～12:00

会場

茅葺の曲がり家
西の家

横手
エリア

7/25
TUE

14:30～15:30

会場

デリカテッセン＆
カフェテリア紅玉

主催／秋田県あきた未来創造部 地域づくり推進課 元気ムラ支援チーム



ロカジョサークル SCHEDULE

お住まいの地域に限らず、行けるエリアに参加OK！



まずは説明会へ行ってみよう！

2023年
7-8月
説明会

申込締切
開催日の
1週間前まで

対象者
概ね20代～40
代の女性で
地域活動に関
心のある方

参加料無料

定員
各エリア
先着15名

託児有
(無料・要予約)

おやつ
ドリンク
付き

交流会への申込は
説明会後でOK！

能代エリア

8/5 SAT

時間 10:00～11:00

会場 TENOHA 能代 (旧常盤小中学校)
(能代市常盤堂回90)



ゲスト 能代市地域おこし協力隊
佐藤 香蓮 さん



「私なりの地域との関わり方」

能代市地域おこし協力隊 中心市街地活性化担当。商店街や各実行委員会のイベントやプロジェクトサポート。小学生向け仕事体験「しごとーい」のしろや地域のコミュニティ作り「のしろ会議」主催。趣味で秋冬限定、焼き芋やさんもやっています。

仙北エリア

7/29 SAT

時間 11:00～12:00

会場 茅葺の曲がり家 西の家
(仙北市角館町小勝田下村34)



ゲスト 三春と歩のがっこやさん
いぶりがっこ主宰
村岡 歩 さん



「楽しむ、巻き込む、受け継ぐ」

埼玉県出身。「秋田でしかできないことがしたい」とママ友といぶりがっこ作りをスタート。その後、いぶりがっこ作りの全工程を体験できる「いぶりがっこ」を開校。全国に70名以上の生徒さんと交流しながら「いぶりがっこの輪」を広げています。

横手エリア

7/25 TUE

時間 14:30～15:30

会場 テリカテッセン&
カフェテリア紅玉
(横手市十字町梨木沖野66-1)



ゲスト 十文字和紙愛好会
伊藤 綾美 さん



「好きを地域で活かしてみよう」

大学在学時に「工作教室における題材の研究」に取り組み、卒業後はライフワークとして秋田県内を中心に工作教室を出店。また、地元で続く手漉き和紙「十文字和紙」を修業し、出来上がった和紙を使ったワークショップも行っています。

8月 第1回
交流会

お互いを知り合う自己紹介タイム、情報交換・モヤモヤ共有

9月 第2回
交流会

やりたいこと妄想会議&アイデア会議

10月 第3回
交流会

実践前のチームミーティング！

11月 実践活動

各フィールドで実践活動にチャレンジ！

12月 発表会

半年間の成果を地域の人にも知ってもらいましょう！

●原則として、交流会から発表会まで連続して参加できる方が対象となります。

●各エリアの日時・会場は、決まり次第参加者にお知らせします。

説明会申込方法

説明会申込
Googleフォーム



①左記のQRコードから申込専用Googleフォームにアクセスし、必要情報を入力の上送信してください。
託児のお申込もこちらからお願いします。(託児は各会場先着10名)

②ご入力いただいたメールアドレスへ事務局からご連絡いたします。
timecolorslab@gmail.comからのメールを受信できる設定をお願いいたします。

お問合せ先

運営

ロカジョサークル事務局

運営会社/株式会社Time Colors 担当:伊藤

〒010-0511 男鹿市船川港船川字小沢田146-143

TEL

080-6027-2538

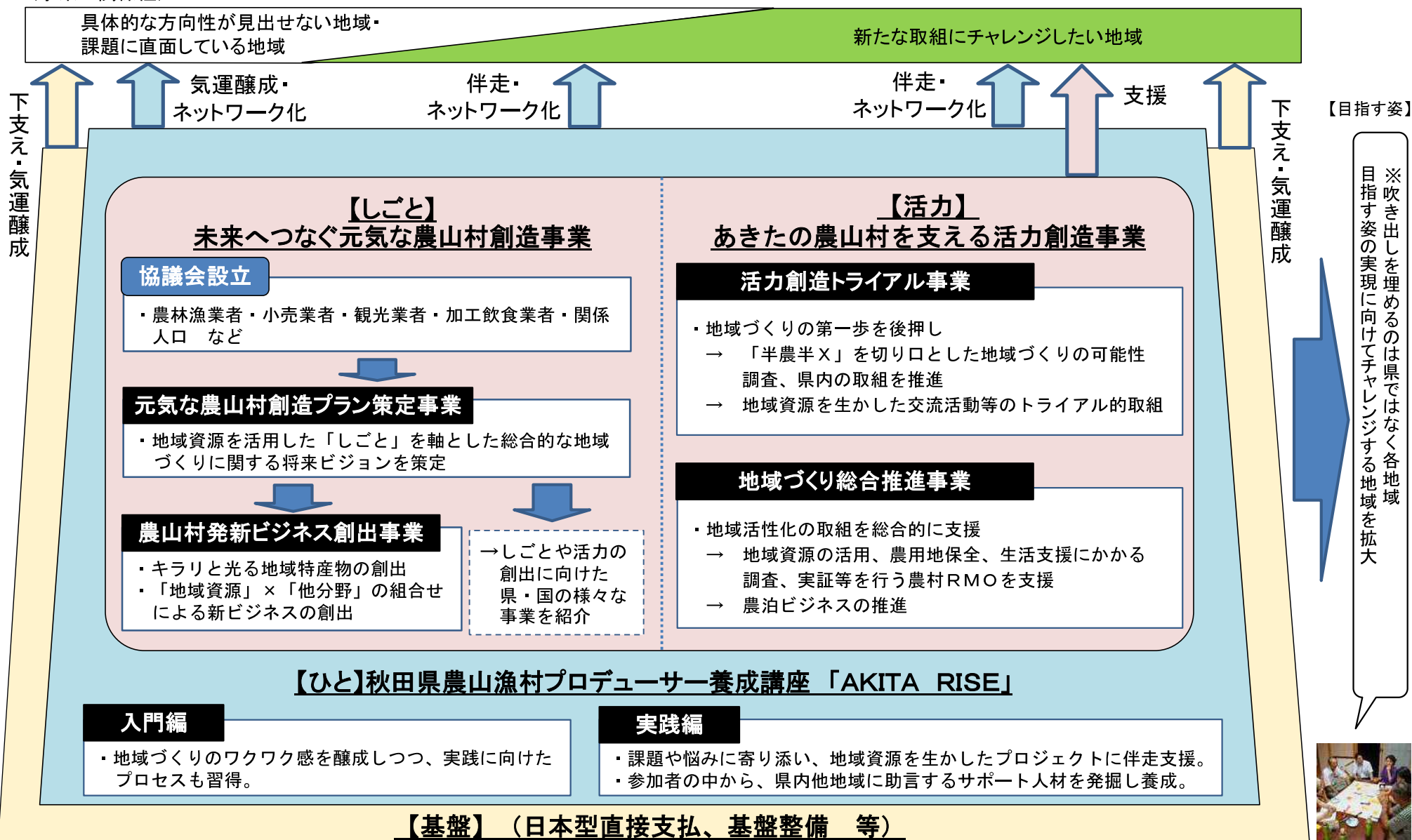
E-mail

timecolorslab@gmail.com

秋田県の農山村振興施策の全体像(基盤・ひと・しごと・活力)

- 地域資源の核である農地、水路などの「基盤」の保全・整備を支援し、地域を下支えしつつ、農山村の活性化に向けた動きにつなげていく。
- 加えて、具体的な方向性が見出せない地域なども含め、あらゆる地域をカバーした「ひと」づくりにより、ワクワク感を持って動き出す地域の裾野の拡大と、新たな取組にチャレンジしたい地域への伴走の両面から支援しながら、同じ志を持つ者同士をネットワークでつないでいく。
- こうした土台の上で、地域資源を生かした新たな取組にチャレンジしたい地域を支援する事業を「しごと」・「活力」の両面から総合的に展開。

(事業の関係性)



中山間地域等直接支払交付金

令和5年7月20日

地域環境保全チーム

- ・ 本交付金は、中山間地の農地が対象で、平場との条件不利補正のため、面積に応じた交付金、約500協定に対し、約10億円を交付。（1協定あたり約2百万円）
- ・ 小坂町、八郎潟町、大潟村を除く22市町村で約1万haが取組。
- ・ 一方で農振農用地を対象とした多面的機能支払交付金は、全25市町村で取り組んでおり、約1千組織に対し、約45億円を交付。（1組織あたり約4百50万円）
- ・ 交付金の活動は、農地の草刈り・泥上げのほか、植栽活動、農業用機械の購入等、幅広く活用が可能。
- ・ 交付対象となる活動は、交付金毎に異なるため、別紙の取組事例を参考にしてほしい。
- ・ 県の共通の課題である、高齢化により、活動の終了を検討している組織数は全体の約1割に上る。現在、組織の広域化や事務委託のマッチング等を支援し、実施面積の維持に努めている。
- ・ この2つの交付金は、農地を維持していくことを主目的としているが、交付対象となる活動が広範囲なことから、市町村等の他部局とともに、さまざまな横展開が可能。
- ・ 地域活性化に向けて関連事業実施の際は、当該組織等の活用もご検討ください。



伝統文化の継承による都市住民との交流の推進

じとく

ひろさきし

自得地区環境保全会（青森県弘前市）

- 本地域では高齢化や担い手不足等の進行により、農業用施設の管理水準の低下が課題となっていたが、平成18年の交付金活動のモデル地区指定をきっかけに、新たな“結”が根付き、地域の農業への理解が深まった。
- 共同活動を契機に、地元大学やNPO法人との連携が始まり、地域資源を紹介するパンフレットの作成など、地域資源の活用や承継を図り、地域振興の取組を実施。
- 平成25年からは、地域資源を活用した農作業体験や地域資源の散策を行うバスツアー、地域に伝わる伝説と歴史を中心に制作された劇の上演など、様々な地域振興活動を他事業も活用して実施。
- 多面的機能支払の共同活動は、これら都市と農村の交流を活性化させる下支えとなっている。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は高齢化や担い手不足等の進行により、農業用施設の管理水準の低下が課題となっていた。
- 平成18年の農地・水・農村環境保全向上活動支援事業のモデル事業の実施以降、共同活動を地域が一体となって行うことで、新たな“結”が根付き、地域の農業への理解が深まった。
- また、平成24年から弘前大学やNPO法人等と連携して地域資源の活用や承継を図り、地域の魅力を地域外へも発信し、都市との交流や地域振興にも取り組むようになった。



地域資源を紹介する「鬼沢まるごとMAP」

取組内容

- 弘前大学やNPO法人が共同活動に参加するとともに、地域資源を紹介するパンフレット「鬼沢まるごとMAP」を連携して作成。地域住民への配布のほか、市内の観光案内所等で広く配布。
- また、本活動組織が共同活動で保全している地域資源を活かし、様々な農村振興の活動を、NPO法人等と連携しながら他事業を活用して実施。
 - 歴史と伝説の里「鬼沢の旅」バスツアー（平成25年から）
保全された農地でのにんにくの作付けや収穫体験、地域資源の散策等を実施。
 - 津軽ふるさと創成劇「鬼と民次郎」上演（平成26年から）
 - 歴史物語スライド「義人 民次郎」の復刻上映（平成26年から）



バスツアーでのにんにく収穫体験

取組の効果

- パンフレットはこれまでに約1,500部配布し、現在も市内の観光案内所等で配布中。
- バスツアーには平成26年からの3年間で約130名が参加。
- 演劇には2年間で約2,000人が来場。また、スライドは地域住民のほか、バスツアーの参加者など、約500人が鑑賞。
- これまでの取組が評価され、平成26年度農林水産祭むらづくり部門天皇杯を受賞。
- 今後も、地域資源を活用した都市と農村の交流を促進し、グリーン・ツーリズムを推進し、地域の活性化を図る。



津軽ふるさと創成劇「鬼と民次郎」

【地区概要】

- ・取組面積 171ha（田144ha、畑27ha）
- ・資源量 開水路57.3km、農道12.8km、ため池1箇所
- ・主な構成員
農業者、子ども会、PTA、老人クラブ、土地改良区ほか
- ・交付金 約15百万円（H29）
 - 農地維持支払
 - 資源向上支払（共同、長寿命化）



環境教育・6次産業化を通じた地域活性化の取組

ひがしおうみし

魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市）

- 本地域（東近江市栗見出在家町）では、地域に元気を取り戻すため、平成18年度から県が推進する「魚のゆりかご水田プロジェクト」と「農地・水・環境保全向上対策（平成18年度はモデル事業）」を活用し、集落全体が一致団結して取組。
- 集落の人だけで活動してもマンネリ化するため、水田オーナー制度を導入し、魚のゆりかご水田米を積極的にPRするとともに、田植え体験、生き物観察会、稲刈り体験等のイベントを開催。
- さらに、魚のゆりかご水田米の米粉や地元食材を使った料理講習会の開催や学校給食等を通じた食育、県外中学生の教育旅行の受け入れ、地元酒造メーカーと連携した酒米と日本酒造り等の地域活性化を図る様々な活動を展開。

【地区概要】

- ・取組面積 64.36ha
(田60.17ha、畑4.19ha)
- ・資源量 水路13km、農道4km
- ・主な構成員 農業者、非農業者、自治会、農事組合法人等
- ・交付金 約5百万円(H29)

農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- S40年代からの琵琶湖総合開発により湖面の水位が下がり、同時期に実施された基盤整備により水田と排水路の段差が出現。琵琶湖のフナやナマズ等が田んぼへ自由に出入りすることができなくなった
- 滋賀県では、かつてのように琵琶湖と水田を湖魚が行き来でき、産卵・生育できる水田環境を取り戻す「魚のゆりかご水田プロジェクト」をH13から推進
- 集落に元気を取り戻すため、集落全体が一致団結し、「魚のゆりかご水田」と「農地・水・環境保全向上対策」に取り組んだ



ほ場整備後の段差

取組内容

【魚のゆりかご水田を中心とした活動の展開】

- 減農薬・減化学肥料等の環境にこだわり、県が認証する「魚のゆりかご水田米」の栽培を集落ぐるみで実施(H29:30ha)し、良品質の米生産を実践
- 集落全戸に呼びかけ、春に水田魚道を設置【多面支払の活動】
- H23から水田オーナー制度を導入(1区画100㎡/3万円)する等消費者と積極的に交流
- 魚のゆりかご水田での「田植え体験」、「生き物観察会」、「稲刈り体験」をイベント化(水田オーナーは参加費無料)【多面支払の活動】
※H28、H29の観察会参加者は200人以上
- コミュニティセンターと連携し、魚のゆりかご水田米の米粉や地元食材を使った料理講習会を毎年実施
- H26から魚のゆりかご水田の取り組み時期に合わせて教育旅行の受け入れを実施(これまで千葉県と神奈川県の中学生を受け入れ)

取組の効果

- 集落全体が一致団結し、魚のゆりかご水田を中心とした様々な活動を多面的機能支払交付金を活用しながら取り組んだ結果、地域が次のように変わった
- 集落内外から参加者を募り、集落全体で取り組めるイベントができたため、地域が活性化。また、地域外の水田オーナーや活動参加者、企業等と交流・人脈が拡大
- 取組前は対外的にアピールできるものがなかったが、良品質の「魚のゆりかご水田米」や独自の酒米を栽培し、地元酒造メーカーと造った日本酒など、集落の特産品を創出



集落総出で魚道を設置



生き物観察会

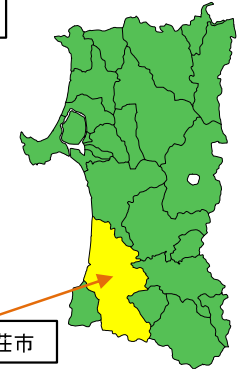
土地改良区を中心とした広域的な農地の維持・管理（秋田県由利本荘市やしま集落協定）

- 旧矢島町内における55協定を統合することにより、土地改良区に事務を一本化し事務負担を軽減するとともに土地改良区を中心とした生産基盤の整備と地域農業の維持・管理を実施。

協定面積：405ha（田） 交付金額：4,764万円（個人配分53%、共同取組活動47%）
協定参加者：農業者293人、土地改良区1 協定開始：平成12年度

秋田県

由利本荘市



取組の概要

- 当地区は、秋田県南部に位置し、起伏の多い山麓地帯であり、豊富な水資源を活用して主に水稻を栽培。
- 旧矢島町内では、集落人口の減少と高齢化、農業の担い手不足等の地域の将来を懸念し、本制度の取組を開始。
- 平成16年度には、旧矢島町内で55協定が存在していたが、高齢化等により、農作業に加え、活動に係る調整や交付金に係る事務を行うことが困難となった協定が複数存在。
- 市、集落代表者及び土地改良区で協議を重ねた結果、第2期対策から、55協定を1協定に統合し、旧矢島町全域をカバーする広域協定を締結するとともに土地改良区も協定に参加。交付金に係る事務を土地改良区が担うとともに、地域全体で農地や水路・農道を維持管理する体制を構築。



【集落協定の総会開催】



【共同作業後のほ場】

取組の特色

- 協定の統合で交付金規模が大きくなったことから、事務担当者を配置するための経費を確保。協定事務を土地改良区に一本化し、協定参加者の事務負担を軽減。
- 地域に交付される交付金を一元的に管理し、災害時の復旧に本交付金を集中させるなど、地域全体の農地保全を念頭に置き、交付金を重点的、効果的に運用。
- 協定農用地では主食用米のほか酒米にも取組み、地元酒蔵に出荷。また、高収益作物のアスパラガス、花きのリンドウを導入するなど所得向上に向けた取組を実施。
【販売額（アスパラ、リンドウ）：12,000千円（H27）→14,000千円（R1）】
- 管理作業に係る担い手の負担軽減と品質向上のため、交付金を活用したラジコンヘリでの共同防除を実施。
- 集落が主体となり地元中学生の農業体験学習を行い、農地の維持管理の大切さを次世代に伝える取組を実施。



【中学生の農業体験学習】



【ラジコンヘリによる防除作業】

「角館野菜」ブランド化へ！～角館町下延地域の挑戦～

令和6年度新規採択希望

農地中間管理機構関連ほ場整備事業

おおせぞうの
大瀬蔵野地区【仙北市】



地区概要		
受益面積	関係農家	総事業費
44.0ha	99戸	14.3億
整備計画	現況10～20a → 計画1ha	
組織経営	個人経営	その他
44.0ha	0.0ha	0.0ha
法人計画	現況1法人 → 計画3法人	

ブランド化への取組



各法人で作付けする品目を対象として
県内有数の観光地である仙北市内での
生産物の利用を拡大し、「角館野菜」
としてブランド化！

角館野菜

ブランド定着に向けて

現在の地域の営農状況



通算100回以上の開催を誇る
地域独自の品評会を開催し、
栽培技術の向上に努めている。

古くから高収益作物に取り組み、
技術向上に努めてきたため、
ブランド化に取り組み始める下地がある！



系統出荷だけではなく、近隣のスーパーや給食
センターにも出荷している。
また、生産者グループを組んで、独自のシールを
作り差別化を図る取組を行っている。

【県との連携】

- 「未来へつなぐ元気な農山村創造事業」を活用
- ・地域資源を生かした地域活性化を目指すプランを策定
- ・地域特産物のブランド化や観光等の他分野との組み合わせ
による新たなビジネス創出等に必要な取組を支援。

【仙北市との連携】

- ホテルや農家民宿の利用に係る統計調査、
アフターコロナに向けた観光分野施策の
方向性確認、観光イベントの開催等を
実施している。仙北市と連携してイベント
やレストラン等への食材提供を行い、販売先の定着を図るほ
か、観光客への地場産野菜のPRIに繋げる。



【ほ場整備とブランド化に向けた事業のスケジュール】

項目	R5	R6	R7	R8
未来へつなぐ元気な農山村創造事業	協議会 設立	プラン 策定	ブランド化支援	
農地中間管理機構関連ほ場整備事業		地区採 択	面工事	

【角館野菜ブランド】

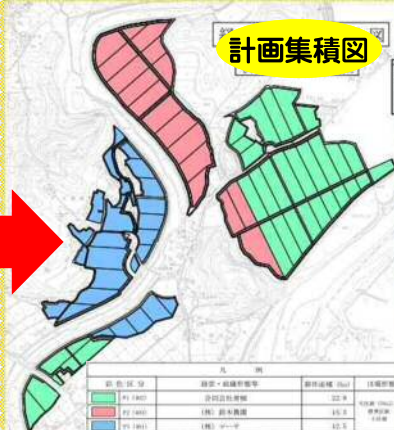
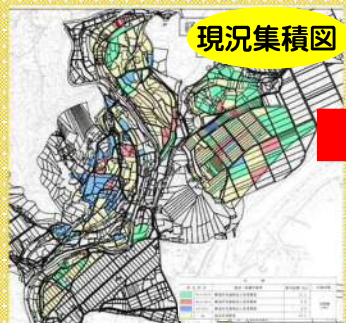
- 仙北市角館町やその周辺で栽培される野菜を想定。
- 「角館」という知名度を生かしたブランド化を図り、地域の特産品
としての生産額向上や観光地の目玉として期待。
- まずは地区内で栽培され、事業を契機に拡大する「トマト、えだまめ、ねぎ、さといも」を角館ブランドとして展開。
- 将来的には周辺地域を含め、生産品目の拡大や生産量の向上を
図っていく。

営農計画

既設1法人+新設2法人に農地を全て集積！

3法人の特色を活かした営農！

事業を契機にえだまめやねぎに取り組み
生産額約1.5倍！



（株）マーズ

主たる品目：水稲、トマト

高糖度のトマトを栽培。県の6次産業化の取組で
あるアグリヴィナスの会員が従事しており、トマト
の加工品を製造、販売している。



（合）鈴木農園

主たる品目：えだまめ

えだまめに特化した栽培を行っており、事業を契
機に色彩選別機を導入して効率化を図り、栽培面
積を拡大する。えだまめの加工にも挑戦する。



（合）青柳農園

主たる品目：水稲、ねぎ、さといも

現在、スーパーの（株）タカヤナギへ出荷している。
また、市給食センターにも出荷しており、これらの
販路を活用し、高収益作物の生産拡大を図る。



●栽培品目

品目	現況	計画
水稲	34.4	21.3
飼料用米	3.5	5.0
ねぎ	0.4	1.0
さといも	0.3	0.4
えだまめ	4.0	13.8
トマト	0.2	0.5
大豆	5.0	2.0
計	47.8	44.0



営農構想 実現のポイント

○地域での話し合いによる合意形成

- ・ 地域の特色や強みなどの把握
- ・ 後継者の確保・育成
- ・ 地域資源を活用した新しいことへのチャレンジ

○関係機関との横断的な連携

- ・ 部局を跨ぐ情報共有と連携体制の構築
- ・ 地区と他地域を結ぶネットワーク化
- ・ 農山村振興施策を支援する事業の有効活用

未来へつなぐ元気な農山村創造事業

農山村地域において、多様な人材の参画のもとで地域資源を生かした地域活性化を目指すプランづくりから、地域特産物のブランド化や地域資源と観光等の他分野との組み合わせによる新ビジネスの創出までを総合的に支援。

※令和5年度より中山間地域要件を撤廃したので、県内の農山漁村地域全てが対象

STEP0:協議会設立

- ・農林漁業者に加え、多様な人材（小売業者、観光業者、加工・飲食業者、関係人口など）が参画
- ・次世代への継承など取組の持続性も含め、必要な人材が参画

(参考)地域づくり活動支援事業

(補助率 定額 ※上限300千円(1年目)、100千円(2年目))

- ・農地等を活用した交流活動等を通じて、地域の活性化を図る取組を支援
- ・未来へつなぐ元気な農山村創造事業の実施に向けたトライアルとしても活用が可能

【R4プラン策定済み】 4地域(北秋田2、山本1、由利1)

【R5プラン策定予定】 4地域(鹿角1、北秋田1、秋田1、雄勝1)

STEP1:元気な農山村創造プラン策定事業 (補助率 1/2(+市町村協調助成1/2) ※上限300千円、1年間)

- ・地域資源を活用した「しごと」を軸とした総合的な地域づくりに関する将来ビジョンを策定
- ・策定に当たり、協議会構成員が秋田県農山漁村プロデューサー養成講座「AKITA RISE」を受講

【主な記載事項】

- ()年後のビジョン
- 取組による効果(「しごと」「活力」の両面から記載)
- 将来ビジョンの達成に向けた取組
- ビジネスの取組目標(取組の内容ごとに複数設定可)



ワークショップの開催



先進地視察



AKITA RISEの受講

【R4事業実施】 1地域(由利1)

【R5事業実施予定】 4地域(北秋田2、山本1、由利1)

STEP2:農山村発新ビジネス創出事業(補助率 1/2(+市町村協調助成1/2) ※上限2,500千円、2年間)

- ・元気な農山村創造プランに基づく、新たなビジネスの創出に必要な取組を支援
- ・同プランで設定されたビジネスの取組目標ごとに、1つの事業を実施可能

【R5拡充】併せて交流拠点を整備する取組は補助上限額50万円加算

【支援対象となるビジネスの範囲】

① 地域特産物のブランド化

農林水産物等について、2次・3次産業との連携を図るなどして、再生産可能な価格での販路を確保する取組

② 新ビジネス

農地、森林、景観などの地域資源と観光や飲食等の他分野との組み合わせによるビジネス

①地域特産物のブランド化



施設・機械等の整備



試験栽培
新商品の試作・販売

②新ビジネス



ビジネス施設等整備



マーケティング活動等

→さらに、しごとや活力の創出に向けた県・国の様々な事業を紹介し、総合的な地域づくりを後押し

※例えば、元気な農山村創造プランを策定していく中で、農用地の保全や生活支援にも取り組んでいく構想がある地域には、農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(農林水産省)を紹介

未来へつなぐ元気な農山村創造事業の取組事例

鹿角市花輪地域

～「鹿角タコス・チップス」による地域活性化～

○取組内容

- ・タコス・チップスを活用した交流の場の創出（R4.11月にカフェバーオープン）
- ・タコス等の原材料となるブルーコーンを地元で生産するため試作中
- ・その他のタコス材料も地元産食材を活用

○主な構成員

農家、農業法人
鹿角タコス（若手移住者3名）
燻製屋猫松 等



ブルーコーン試作



ブルーコーンチップス

北秋田市大阿仁地域

～秋田内陸線「比立内駅舎」を活用した地域活性化～

○取組内容

- ・地域特産物の加工・販売所の整備による賑わいの創出
- ・がっこ加工技術の継承など、地元食文化の保全・継承に向けた学びの場の創出
- ・駅舎をコワーキングスペース、カフェ＆バーとして活用し、交流の場を創出

○主な構成員

農家
（一社）大阿仁ワーキング
地域おこし協力隊
自治会・婦人会・青年会 等



がっこステーション
（比立内駅舎）



駅舎内にある
コワーキングスペース

藤里町粕毛地域

～「南白神の里」ブランドを活用した地域活性化～

○取組内容

- ・南白神の里ブランドを生かした地域特産物の加工・販売
- ・農泊施設を生かした交流の場の創出
- ・地域内の農用地保全・生活支援のための共助体制の確立

○主な構成員

農家
NPOふじさと元気塾
ふじさと粕毛まちづくり協議会
地域おこし協力隊
農家民宿経営者
多面的機能支払活動組織 等



南白神ベース
（農泊施設）



豊富な湧水を
活用した養殖

にかほ市横岡地域

～ゲストハウスを交流拠点とした地域活性化～

○取組内容

- ・古民家を活用したゲストハウス整備による交流の場の創出
- ・地域特産物「横岡そば」などを生かした体験メニューの提供
- ・日本型直払（多面、中山間）活動組織と連携した農用地保全

○主な構成員

農家
地元そば生産組合
地域おこし協力隊
自治会
日本型直払活動組織 等



古民家のゲストハウス整備

未来へつなぐ元気な農山村創造事業の進め方(案)

～「〇〇業務のついでに」でOK！～

- ◎ 〇〇事業の地元説明会の「ついでに」
- ◎ 〇〇地域座談会の「ついでに」
- ◎ その他、〇〇交流会等のイベントなど様々な場面で「ついでに」

〇〇業務の「ついでに」以下のような対応をお願いします。

- ・地域を活性化する本事業等の紹介
- ・地域を活性化したい人材の育成の場(アキタライズ)の紹介
- ・地域を元気にしたいと思っているプレイヤー、アイデアの発掘 等

- ・ 視野を広げると農山村地域を元気にしようという想いを
持ったプレイヤーはごろごろといるはずです。

多様な「半農半X」推進事業（新規）

様々なタイプの「半農半X」について、新たな可能性を探るための事業を創設

あきた田園ライフ調査事業（R3～4）

これまでの取組状況

- コロナ禍により農山村地域への二地域居住や移住・就業の関心が更に高まっている。
- 副業として農林漁業を希望する都市住民の受入体制の整備や、両立が可能な働き方の調査のため、新たなライフスタイル「半農半X」の推進に向けた実証事業を実施
 - 令和3年度：1地域（八峰町）
 - 令和4年度：2地域（八峰町、にかほ市）

成果（R3・R4）

- 定員を超える応募があり、一定のニーズがあることを把握
- 参加者が本業のスキルを生かして、インタビュー動画制作や、農産物のパッケージデザイン、地域課題解決に向けた提案を行うなどのイノベーションが発生
- 体験参加者が受入地域を再訪するなど、関係人口の拡大につながっている。

課題・新たな可能性（R3・4）

- 県内の参加者が少ない。
- フリーランス以外ではハードルが高い。
 - 企業側で本来業務以外の活動を評価する仕組みが整っていない。
- 安価で長期滞在可能な宿泊施設等が少ない。
- 県内外の民間企業等から多様なタイプの「半農半X」についての提案があり、新たな可能性が示唆されている。



【新規】多様な「半農半X」推進事業（R5）

多様なタイプの「半農半X」体験を実施

＜【半農半X】のタイプ＞

- 個人：会社員、フリーランス（R3・4年度・八峰町）
- 個人：会社員（R4年度・にかほ市）
- 個人：移住希望者
- 企業：県外（R4・5年度・にかほ市）
- 企業：県内
- 企業：県内外の飲食・小売店

上記などの様々な可能性について調査するとともに、県内における農林漁業への関わり方の選択肢を増やしていく

★令和5年度は、4地域で実施予定（継続1、新規3）

～ 目指す姿 ～

新たなライフスタイルの普及
～ 農業もやりたい！も実現する秋田 ～

- 県内在住者による実践
 - 県内で農業をしたい人材の選択肢の多様化
 - 労働者不足や後継者不在の課題にも対応
- 県外在住者の二地域居住などによる実践
 - 労働力不足にも対応
 - 新たなライフスタイルを魅力とした移住・定住

令和3・4年度「あきた田園ライフ調査事業(半農半X)」の実施状況

八峰町 (R 3～4) <NPO法人八峰町観光協会>

令和3年度の実施概要

- 実施期間：令和3年11月8日～12月23日（2～3週間程度滞在）
- 参加者：7名（公募：東京都2名、愛知県3名、大阪府・秋田市1名）
※会社員2名、フリーランス5名
- 作業内容：ねぎ出荷調製、菌床しいたけ出荷調製、ハタハタ選別作業、生薬苗ポット植替、山の手入（手伝い）



- 参加者による新たな動き等
 - ・参加者と受入農林漁業者の双方のインタビュー動画を参加者が制作
 - ・参加者のデザイナーが農産物のパッケージをデザイン

～参加者のうち5名が八峰町を再訪～



令和4年度の実施概要

- 実施期間：令和4年9月12日～12月5日（3週間程度滞在）
- 参加者：5名（公募：東京都2名、神奈川県2名、愛知県1名）
※会社員4名、個人事業主1名、フリーランス1名
- 作業内容：ねぎ収穫・出荷調製、ミニトマト収穫・梱包、萱刈り、山の手入
- 参加者による新たな動き等
 - ・昨年度の参加者が動画を制作、昨年度の参加者と今年度の参加者が交流



にかほ市 (R 4～5) <(一社) ロンド>

令和4年度の実施概要

- 実施期間：令和4年9月27日～11月10日（2週間程度滞在）
- 参加者：6名
 - ・CCCMKHホールディングス(株)：3名（企業参加）
 - ・ヤフー(株)：3名（個人参加）
（大手家電メーカー：1名（現地視察、個人参加））
- 作業内容：いちじく収穫・出荷調整、ねぎ出荷調製、花卉収穫等



CCCMKH(株)



- 地域の課題解決に向けたワークショップ (WS)の実施
 - ・参加者に地域課題のテーマを与え、受入農家や地域プレーヤーと交流・意見交換していく中でその解決に向けたアイデアを出してもらったWSを実施。
 - ・テーマ：「後継者のいない農地を継承していくには」（CCCMKH(株)）
「九十九島の景観を活かした農山村地域の活性化」（ヤフー(株)）



ヤフー(株)

九十九島の景観を活かした農山村地域の活性化



令和5年度の実施予定

- 実施期間：令和5年9月～（予定）2週間程度滞在
- 参加者：5名程度（副業可能な企業等）
- 作業内容：いちじく、ねぎ、花卉、畜産、水産業関係の作業

中山間地域の保全のための農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基礎となる農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の生活支援に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき各事業を実施。

農村RMO※

協議機能 協議会（総会）

（小学校区程度のエリア）

集落協定
集落営農
農業法人
など



自治会・町内会
婦人会・PTA
社会福祉協議会
など

地域の存続に向けて普段から組織的に活動を行っている農業者を母体とした組織を形成

事務局

総務部

生活部

交流部

産業部

資源部

地域の将来ビジョン

実行機能

事業の実施

資源管理

生産補完
農業振興

生活扶助

農用地の保全



地域ぐるみの農地の保全・活用

地域資源の活用



直売所を核とした域内経済循環

生活支援



集荷作業と併せた買い物支援

「農村空間を管理」し、農産物供給、景観、レクリエーション等「地域資源」を活用、さらに交流や居住等「生活」の空間として活用。

A 集落協定

B 集落協定

C 集落

D 集落協定

E 集落協定

F 集落営農

G 農業法人

H 農業法人

中山間地域等直接支払の対象集落

多面的機能支払の対象集落

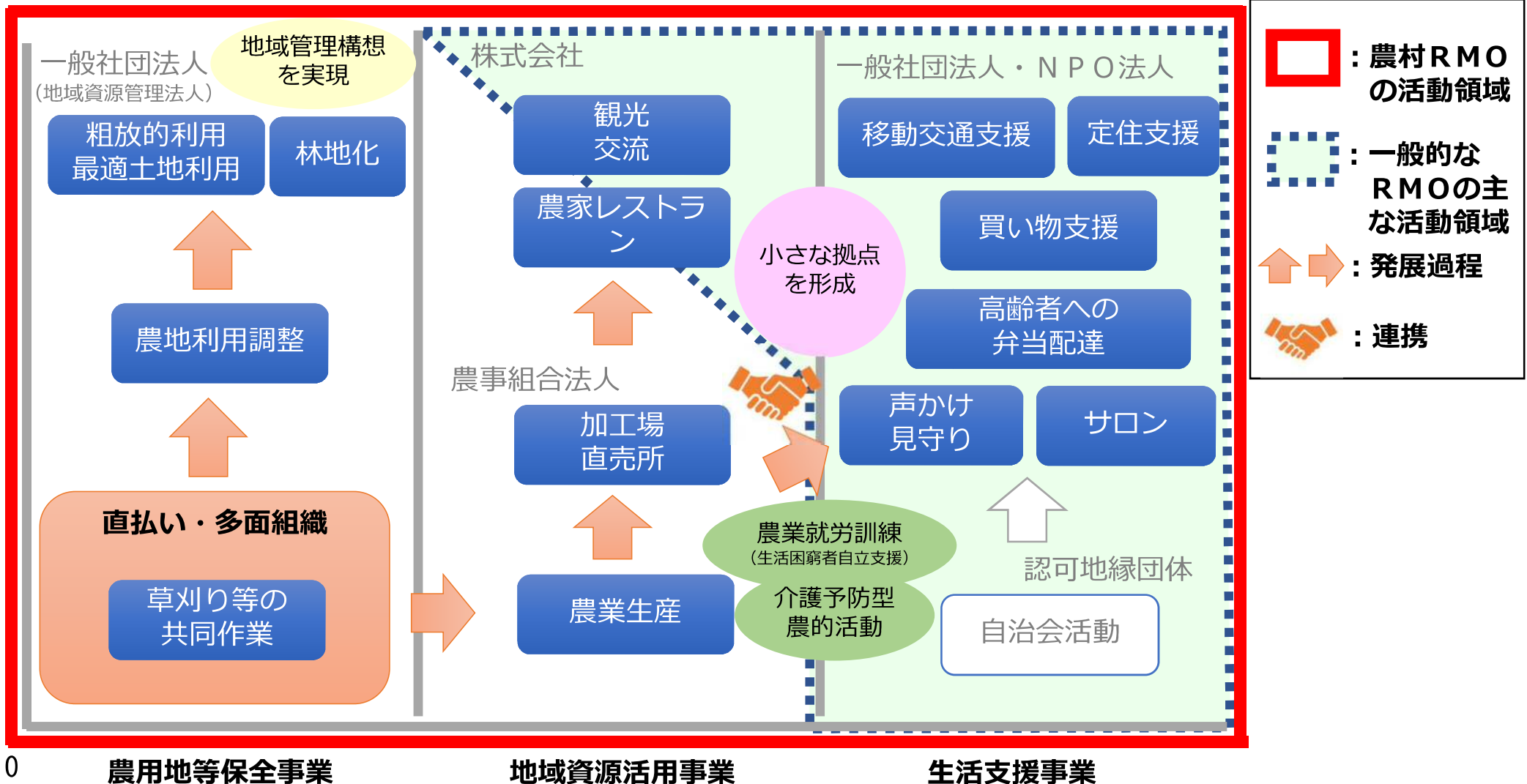
中山間地域等直接支払、多面的機能支払による共同活動、組織的活動の下地

9 ※ 地域運営組織が展開する活動は多種多様であり、法人格を持たない任意団体（自治会・町内会、自治会等の連合組織など）をはじめ、NPO法人、認可地縁団体、一般社団法人、株式会社、合同会社など多様な法人制度を活用。

農村RMOの事業領域と発展過程

- 農村RMOは、中山間直払いや多面支払いの組織などの農用地の保全活動を行う組織を中心に、地域の多様な主体を巻き込みながら、地域資源を活用した農業振興等による経済活動を展開し、さらに農山漁村の生活支援に至る取組を手がける組織へと、省庁横断的に発展させていくことが重要。

持続的で秩序ある土地利用の推進
(良好な農村空間の形成) → 地域の雇用創出、所得向上
域内経済循環の促進 → 地域における生活基盤の維持
人口流出防止、定住移住促進



61-3 農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）のうち 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>

中山間地域等において、複数の農村集落の機能を補完する**農村RMOの形成**により**地域で支え合うむらづくり**を推進するため、**むらづくり協議会等が行う実証事業等**の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる**中間支援組織の育成等**の取組に対する支援を実施します。

<事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区〔令和8年度まで〕）

<事業の内容>

1. 農村RMOモデル形成支援

地域協議会等が作成する**将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援**にかかる**調査、計画作成、実証事業等**の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組に対して支援します。

【事業期間】最大3年間

【交付率（上限）】定額（1,000万円（年基準額）× 事業年数）

2. 農村RMO形成伴走支援

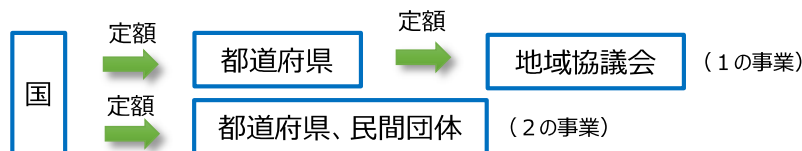
農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成等**を通じた都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う**全国プラットフォームの整備**に対して支援します。

農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

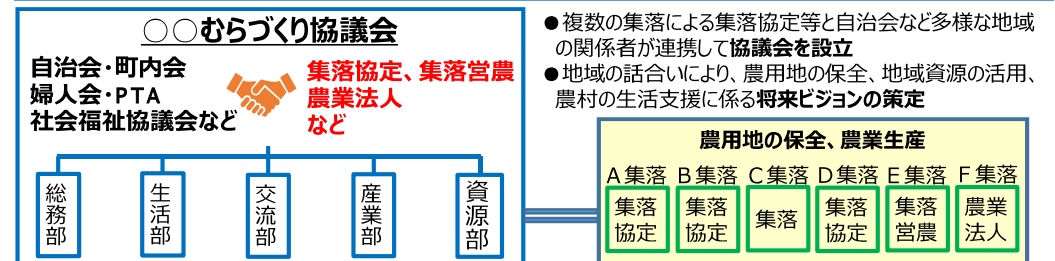
※対象地域：8法指定地域等

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

農村RMOモデル形成支援



農村RMO形成伴走支援



【お問い合わせ先】農村振興局地域振興課（03-3501-8359）

農村型地域運営組織形成推進事業【農村RMO】（新規：国庫定額）

事例：にかほ市象潟町【麓のカラコ協議会】

- にかほ市象潟町横岡地域は、県内最大規模の中山間地域等直接支払交付金で約160haの棚田を維持管理。
- 横岡地域の「横岡稲倉そば生産組合」は令和2年度に「一般社団法人日本蕎麦協会会長賞」受賞。
- 令和3年度に東京都出身の地域おこし協力隊（20代2人 Ventos）が、鳥海山、日本海、棚田などの資源の他、地域の人柄に魅了され活動地域を横岡地域に決定し、「田舎での生活の豊かさを体感し、自分の田舎を作る」活動を開始。
- 隣接する船岡地域と連携し、農村集落の機能を補完する「農村RMO」の形成により、地域で支え合うむらづくりに挑戦。

農用地保全(構想)

●主たる活動者

中山間地域等直接支払「横岡集落協定」

○鳥海稲倉地域「集落戦略」策定

- ・農用地利活用調査（作付作物、耕作者年齢、田差など）
- ・将来の農地利用構想

○将来に向けた体制整備

- ・草刈り維持管理体制の確立



生活支援(構想)

●主たる活動者

Ventos

○生活支援の概要

今後予想される買い物困難者に向けて、象潟漁港の漁師と共同で行う未利用魚、農産物等の移動販売。



漁師YouTuber（漁Tuber）

カズナリさん

地域資源活用(構想)

●主たる活動者

Ventos

横岡稲倉そば生産組合 など

○ゲストハウス-Rokumasu運営

「宿泊」「地域交流」「イベントスペース」等、包括的な機能を持つ拠点

○一次産業体験

- ・農業体験
- ・蕎麦打ち体験
- ・漁業体験
- ・里山体験

○横岡稲倉そば商品開発（そば米）

- ・主に首都圏の健康志向者を対象

○横岡稲倉そば（食堂）

- ・十割そば
- ・キッチンカー（象潟道の駅など）
- ・横岡の空き家等を利用した食堂

○伝統芸能等情報発信

- ・鳥海山日立舞（県指定無形民俗文化財）

○川魚養殖

- ・イワナ、ヤマメ、ニジマスなど
- ・本郷地域の未利用施設を活用



秋田県農山漁村プロデューサー養成講座

AKITA RISE

地域活性化に飛び込む人材の裾野拡大を図るとともに、自治体職員等支える側のスキルアップも担う「**入門編**」
課題や悩みに寄り添いながら、地域の新たなプロジェクトに伴走支援する「**実践編**」
「同じ志を持つ者同士の**ネットワークづくり**」が進み、研修の場が「**人をつなぐ場**」に！

入 門 編

特 徴

（プレイヤー 向け）

地域づくりの**楽しさ、ワクワク感**を感じる
実践に向けたプロセスを、講演や先進事例から学べる
同じ志を持つ**仲間とのネットワーク**を作れる

（関係機関 向け）

地域の主体性、自発性を引き出すツールとして（連れてくる）
情報収集、**指導力や助言力向上**の一助として（現場力アップ）
関係機関とのネットワーク構築が可能（業務の円滑な推進）

実 践 編

特 徴

（プレイヤー 向け）

地域で動き出すきっかけに
受講を通じて、**アイデアや想いを形（プラン）**にできる
同期生同士のより深い**ネットワーク**ができる
実現に向けた事業支援（未来へつなぐ元気創造事業等）

（関係機関 向け）

地域活性化のプランへ「**伴走支援**」ができる。
（県・市町村・専門家が連携して、あがりまでサポート）

研修後のイメージ

プロジェクトのリーダーやプレイヤーとして**地域を牽引**
サポーターが中心となり地域内のプレイヤーをコネクト
それぞれの立場から**農村づくりをプロデュース**

AKITA RISEサポーター

経験や得意分野を生かし**地域内外の取組をサポート**

関係機関 → 継続した支援

サポーター → SNS発信、アドバイス、視察受入、事例紹介等

秋田県農山漁村プロデューサー養成講座

AKITA RISE

地域活性化に飛び込む人材の裾野拡大を図るとともに、自治体職員等支える側のスキルアップも担う「**入門編**」
課題や悩みに寄り添いながら、地域の新たなプロジェクトに伴走支援する「**実践編**」
「同じ志を持つ者同士の**ネットワークづくり**」が進み、研修の場が「**人をつなぐ場**」に！

入 門 編

特 徴

（プレイヤー 向け）

地域づくりの**楽しさ、ワクワク感**を感じる

実践に向けた**準備・実践・振り返り**の学び

同じ志を持つ

（関係機関 向け）

地域の主体性、自発性を引き出すツールとして（連れてくる）

情報収集、**指導力や助言力向上**の一助として（現場力アップ）

関係機関との**ネットワーク構築**が可能（業務の円滑な推進）

実 践 編

特 徴

（プレイヤー 向け）

地域で動き出すきっかけに

実践を通じて、**課題解決に向けた取り組み**の学び

（関係機関 向け）

実践を通じて

実践を通じて

地域活性化のプランへ「**伴走支援**」ができる。

（県・市町村・専門家が連携して、あがりまでサポート）

入門編・第1回講座 **8月29日（火）10：00～**
@さきがけホール

研修後のイメージ

プロジェクトのリーダーやプレイヤーとして**地域を牽引**
サポーターが中心となり地域内のプレイヤーをコネクト
それぞれの立場から**農村づくりをプロデュース**

AKITA RISEサポーター

経験や得意分野を生かし**地域内外の取組をサポート**

関係機関 → 継続した支援

サポーター → SNS発信、アドバイス、視察受入、事例紹介等

令和4年度 AKITA RISE実践編 参加者名簿

市町村名	参加者氏名		所 属 等	プロジェクト
鹿角市	安保朗		有限会社安心サービス 鹿角きりたんぼFM	地域の特産品をPRして農業をはじめとした地域産業を底上げ
鹿角市	片山嵐太郎	渡辺旭	鹿角タコス	ブルーコーンチップスの国産化及びブルーコーンの産地化を通じた 鹿角地域活性化
北秋田市	山田友美	高杉沙織	森のテラス	ほたる観賞場所の整備
北秋田市	斎藤美奈子		北秋田市役所 地域おこし協力隊	新たな漬物加工場の設置 がっこ（漬物）を地域の食文化として確立
北秋田市	船橋陽馬	加藤大雅 船橋奈々恵	自営業	根子集落サステナブルプロジェクト
藤里町	小森久博	藤原 弘章	ふじさと粕毛地域活性化協議会	農地の活用と保全、生活支援を行い持続できる地域づくりを進める。
潟上市	菅原望美		農業	子育て世代のママさんインターンシップ
秋田市	辻 康平		山王土地株式会社（不動産業） あきたDream Way（NPO団体）	「基点となる場所づくり」のお手伝い 空き家の利活用、管理および買取法人とファンドの創設 テーマは地域コミュニティの再構築とマネジメント
秋田市	江口大輔		だいどこ大	缶詰めの製造販売
秋田市	林 貴寿	須磨 菜奈	フリーター	農家さんの販路拡大のお手伝い、農家さんのPRのお手伝い、厳選された野菜を古民家での直売所
にかほ市	佐藤溪輔		株式会社ひの里	ひの里の運営方法、並びにマインドセットや組織内のベクトル調整 についてブラッシュアップ
にかほ市	中山功大	笠間怜	Ventos	地域の拠点づくり、ゲストハウスの作成についてと地域資源を活用した、商品開発
美郷町	坂本長大		農業	農業体験を主とした観光地化・娯楽地化。営農学習の場の提供と独立支援。
横手市	首藤 郷		株式会社こめたび	世界に通用するホップ事業の展開
湯沢市	小野塚真美		（株）KAMURO	農業法人と地域活性化
羽後町	佐藤正和	背尾文哉	NPO法人みらいの学校	地域課題のビジネス解決プロジェクトの生成

24名

16プロジェクト

半農半X等人材確保事業

半分農業 半分本業

1

令和5年7月20日（木）

八峰町農林振興課 副課長 門脇 朝哉

1-1. 半農半X等人材確保事業の概要

秋田県による半農半X事業

- ・ 関東圏等から副業希望者を募り、人材確保に対する可能性が見える。
- ・ 都市と地方の交流が生まれ、関係人口の創出が見込まれる。
- ・ 全国ニュース等のマスコミに多数取り上げられ、知名度が上がった。



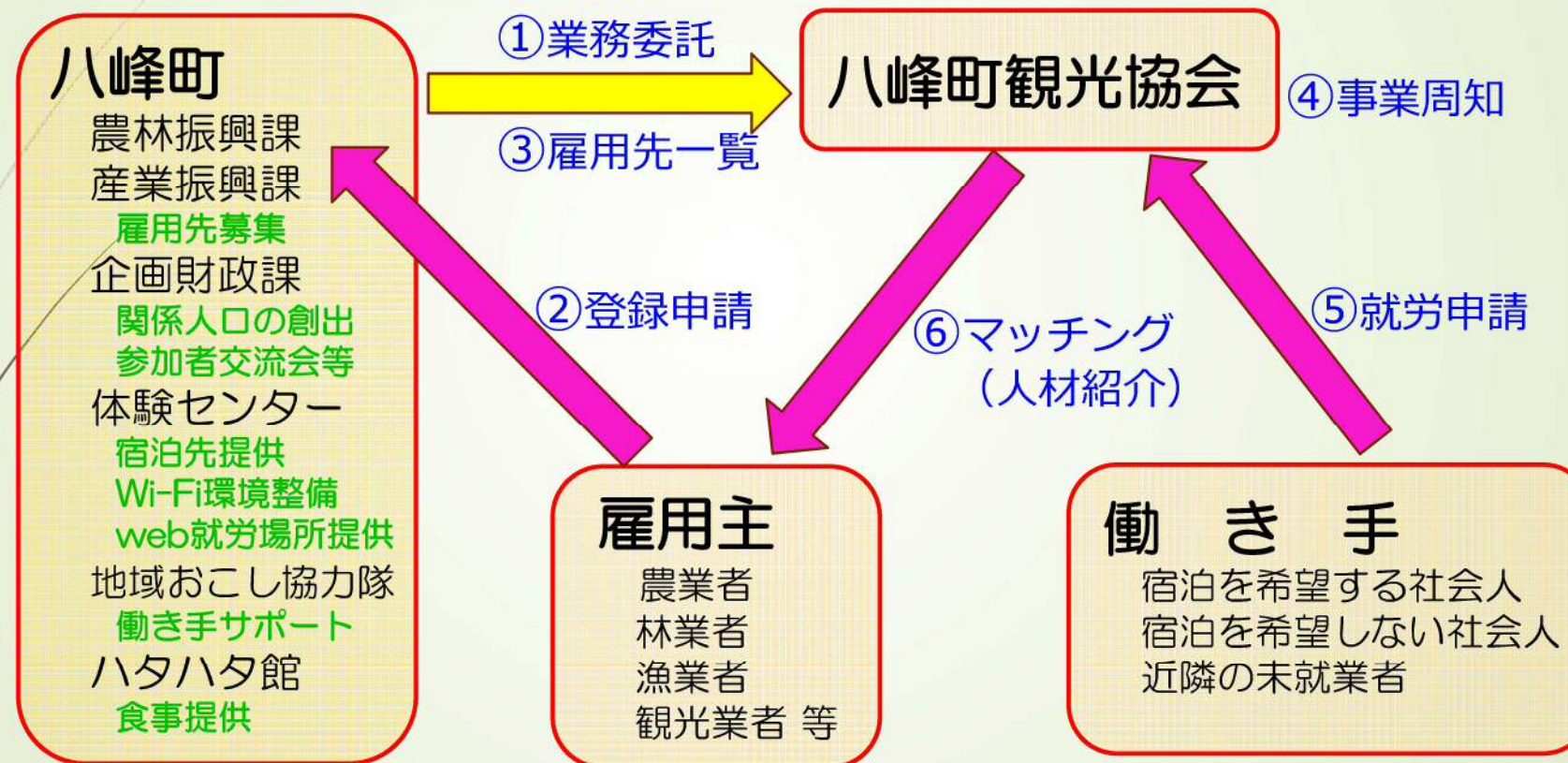
R5八峰町による事業継承を検討

人材確保に特化した場合の懸念点

1. 参加者数の確保 → 2年間実績：働き手13名＝労働力としては少ない
2. 働き手への雇用先のマッチングの煩雑性
3. 働き手への宿泊先のマッチングの煩雑性
宿泊先のWi-Fi環境の整備
4. 雇用主の賃金支払の手間（働き手の激しい入れ替わりによる多数振込）
5. 働き手への連絡調整

1-2. 半農半X等人材確保事業の概要

R5町単後継試験事業案

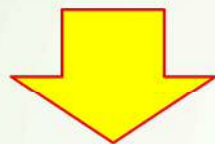


※R5.7.7現在 事業打ち合わせを5回開催

2. 宿泊先の一括管理と実施期間（体験センターの受入れ）

宿泊先：あきた白神体験センター

閑散期に当たる10～12月の3か月間を実施期間に設定し、
宿泊先を1施設で受け入れする。



- 宿泊先のマッチングを簡略化
- Wi-Fi環境の完備
- 働き手への連絡が容易に



3か月間における雇用先を下記に限定し、試験を行う。

農業（ネギ、菌床しいたけ、生薬）、
水産業、飲食業、宿泊業

3-1. 雇用情報の把握（農林振興課、産業振興課による募集）

（1）雇用先一覧を作成：農林水産観光業（延べ8経営体）

雇用先リスト（農業・林業・水産業・飲食業）

No.	名称 / 住所	勤務内容		服装等	支給品	勤務時間	希望時給	写真
1	(農)はっぼう農園	菌床椎茸	室内作業	室温23℃程度の室内であるため、軽装、ズックで可。	軍手	3か月間	900円 ～ 900円	
			収穫 ほだ木の移動			9 : 00 ～ 17 : 00		
	日曜以外2人/日(月土は必ず出れる人)							

雇用先リスト（農業・林業・水産業・宿泊業）

No.	名称 / 住所	勤務内容	服装等	支給品	勤務時間	希望時給	写真
7	八森いさりび温泉 ハタハタ館	室内作業	黒色のポロシャツ、ズボン		3か月間	900円 ～	
		フロント業務 施設内清掃 ベッドメイキング レジうち等			様々な勤務時間あり、要相談 フル2人/日		

雇用先リスト（農業・林業・水産業・飲食業）

No.	名称 / 住所	勤務内容	服装等	支給品	勤務時間	希望時給	写真
8	秋田県漁業協同組合 北部支所	室内&屋外	屋外作業は防寒対策、長靴が必要	ゴム手袋 ※底曳網出航日	3か月間	900円 ～ 950円	
		荷揚げ 計量 事務補助			13 : 00 ～ 17 : 00 ※(～19:00) 平日2人/日		

3-2. 雇用情報の把握（農林振興課、産業振興課による作成）

（2）雇用先の雇用希望日程表を作成

（株）アグリほんだ

（別紙2-1）

10月 雇用希望日調査票

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
8	9	10	11	12	13	14
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
15	16	17	18	19	20	21
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
22	23	24	25	26	27	28
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
29	30	31				
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 名	人数 名	人数 名	人数 名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 :	時間 :	時間 :	時間 :

（別紙2-2）

11月 雇用希望日調査票

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
5	6	7	8	9	10	11
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
12	13	14	15	16	17	18
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
19	20	21	22	23	24	25
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
26	27	28	29	30		
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名		
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00		

（別紙2-3）

12月 雇用希望日調査票

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
3	4	5	6	7	8	9
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
10	11	12	13	14	15	16
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00	時間 13:00 17:00
17	18	19	20	21	22	23
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名
時間 :	時間 :	時間 :	時間 :	時間 :	時間 :	時間 :
24	25	26	27	28		
人数 名	人数 2名	人数 2名	人数 2名	人数 2名		
時間 :	時間 :	時間 :	時間 :	時間 :		

- ・（1）（2）による雇用マッチングの簡略化

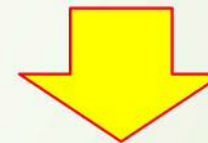
3-3. 雇用情報の把握（農林振興課、産業振興課による作成）

（3）雇用主の雇用実績と希望時給の把握（事前調査）

No.	申請	直近時給	希望時給
1	×	1,000	-
2	×	1,500	-
3	×	1,300	-
4	×	900	-
5	○	1,000	900~1,000
6	×	900	-
7	×	853	-
8	○	900	900~900
9	○	853	853~900
10	○	900	950~950
11	○	900	900~1,000
12	○	860	900~
13	×	880	-
14	×	860	-
15	×	1,000	-
16	×	862	-

賃金の設定

- 働き手の均等分散を図るため賃金は一律設定
- 賃金が雇用主の負担にならないよう低賃金設定
- 賃金の低さを、価値の付加で補う
- 雇用主は激しい入れ替りを嫌う
 - 同一雇用先が長くなった人は時給UP



一律時給

スタート時 : 880円/h
 同一雇用先20hを
 超えた翌日から 900円/h

4-1. 働き手の確保（八峰町観光協会による募集）

（1）働き手の範囲拡大

半農半X（副業希望者）
＋
近隣のアルバイト希望者

・労働力確保の強化

宿泊費助成：半農半Xのみ
交通費助成：半農半Xのみ

イベント参加：両者共通

賃金：両者共通

(案)

ちょうどいい田舎、秋田県八峰町

住もう！ 遊ぼう！ 働こう！

～本業しながら体験する
田舎暮らし～

10/1(日)～
12/28(木)

※期間のうち14日間(13泊)滞在
2万4千円(32万)以上使ってもらえる

詳細・お申込みは特設サイトから

リンク先

内容	応募方法
- 自身の本業を続けながら八峰町でアルバイト ※4日以上のお仕事が必要 - 田舎暮らし体験 ※交通イベントを希望	特設サイトから書類をダウンロードし、提出
費用 交通費：4万円支給 宿泊費：無料 ※食費等、上記以外の費用は全て自己負担	選考方法 書類選考を行ったうえ、応募者と事業者とのマッチングを固く決定
滞在拠点 あきた自身体験センター ※宿泊先別荘、※食事提供あり	応募締切 10月参加希望：8月31日(木)まで 11月参加希望：9月30日(土)まで 12月参加希望：10月31日(火)まで
	問合せ・申込み

半農半X向け募集チラシ案

4-2. 働き手の確保（協力隊による発案）

（2）観光案内・イベントによる価値を付加

気軽に参加できる無料イベント：ランクB
参加費を伴う大型イベント：ランクA

ランクB

10月17日（火）

生薬を食べよう

時間 18:00～20:00

場所 体験センター 調理室

内容 鍋、カミツレパンケーキ

10月31日（火）

夜のお茶会

時間 18:00～19:30

場所 水沢コミュニティセンター

内容

11月14日（火）

生薬を食べよう

時間 18:00～20:00

ランクA

10月13日（金）

地酒

時間 18:00～20:00

場所 ハタハタ館

内容 宴会

10月28日（土）

BBQ

時間 15:00～17:00

場所 好天 キャンプ場、雨天 花の家

内容 地元食材のバーベキュー

11月10日（金）

地酒

時間 18:00～20:00

場所 しらかみカフェ

内容 宴会

八峰町半農半X等人材確保事業 イベントカレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
	1 種樹 (ポイチャール)	2	3	4	5 観光案内所開館	6	7 ふれあいまつり (実行委員会)
	8 ふれあいまつり (実行委員会)	9 シーサイド ロードレース (主催)	10	11	12	13 地酒を楽しむ (ハタハタ館)	14 センターフェス ティバル (後援)
10月	15	16	17 生薬を食べよう (体験センター)	18	19 観光案内所開館	20	21 白神山道30周年 イベント 鶴山
	22 青い森 イベント (主催)	23	24	25	26	27	28 BBQ (キャンプ場)
	29 八峰町観光文化祭 ステージ (1日限定)	30 八峰町観光文化祭 (観劇会・フリースタイル)	31 夜のお茶会 (ポイチャール)	1	2	3	4 ふれあいまつり (ポイチャール)
	5 鶴山道場 (1日限定)	6	7	8	9	10 地酒を楽しむ (ハタハタ館)	11 白神山道30周年 イベント 鶴山・三木
	12 親子で体験 (体験センター)	13	14 生薬を食べよう (体験センター)	15	16 観光案内所開館	17	18
11月	19	20	21	22	23	24 観光案内所開館	25 BBQ (キャンプ場)
	26 ふれあいまつり (ポイチャール)	27	28 夜のお茶会 (ポイチャール)	29	30 観光案内所開館	1	2 クリスマス リース作り (ポイチャール)
	3	4	5	6	7	8 観光案内所開館	9 BBQ (キャンプ場)
	10	11	12 生薬を食べよう (体験センター)	13	14 観光案内所開館	15	16
12月	17	18	19	20	21	22 地酒を楽しむ (ハタハタ館)	23 観光案内所開館
	24 ふれあいまつり (ポイチャール)	25	26 夜のお茶会 (ポイチャール)	27	28 観光案内所開館		

：ランクA 開催

：ランクB 開催
(参加費無料)

：観光案内

：他イベント

4-3. 働き手の確保（関係各課による打ち合わせ）

(3) 観光案内・イベント開催日の配置

半農半X参加条件：2週間滞在かつ4日以上従事

半農半X参加者が、必ず1～2回は参加できるようにイベントを配置

・労働力確保の強化

一般イベントにも誘導

希望者には観光案内

ランクCイベントも企画し、
個別に参加者を募る

八峰町半農半X等人材確保事業 イベントカレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	植樹 (ネイチャー)				観光案内可能日		んめものまつり (実行委員会)
	8	9	10	11	12	13	14
	んめものまつり (実行委員会)	シーサイド ロードレース (生涯)				地酒を楽しもう (ハタハタ館) 観光案内可能日	センターフェス ティバル (体せ)
10月	15	16	17	18	19	20	21
			生菓を食べよう (体験センター)		観光案内可能日		白神山地30周年 イベント 留山
	22	23	24	25	26	27	28
	岩館地区 イベント (正)					観光案内可能日	BBQ (キャンプ場) 八峰町民文化祭 (健康館・ファガス)
	29	30	31	1	2	3	4
	八峰町民文化祭 ステージ (ハ峰中)	八峰町民文化祭 (健康館・ファガス)	夜のお茶会 (水沢コミセン)		観光案内可能日		来よう！紅葉留山 (ネイチャー) 坂
	5	6	7	8	9	10	11

案

5. 雇用主のモラル強化（企画財政課による作成）

雇用先の職場ハラスメント防止策
「受入れ側の心得」を作成し、配布予定

6. 賃金支払いの手間軽減

八峰町観光協会経由による支払い

雇用主が支払う賃金は観光協会を経由する

・雇用主の手間軽減

7. 働き手のイベント参加意思確認等

働き手へのアンケート調査（事前）を実施
イベント参加の希望

雇用主へのアンケート調査（事後）を実施
次年度以降の本格稼働に向けた検討材料

受入れ側の心得

お互いを理解し協力しましょう

「どうすればよいのか」「うまく伝わらない」... 参加者も受入れ側も不安があるのは同じです。お互いにコミュニケーションを大切に相手と向き合い、相手を否定せず、以下のことについて心がけましょう。

案

あ 安全第一 Safety First 参加者はほぼ初心者です。万が一を考えた声掛け、安全配慮、補償対策をお願いします。 	た たのしい雰囲気づくり Create an affable atmosphere 心のこもったコミュニケーションが労働意欲を湧き立てます。ミスはコミュニケーション不足で起こりやすいです。頭ごなしに叱らず、良かった点・悪かった点を共有し丁寧に仕事を教えましょう。 
か 環境を整えましょう Create a comfortable working environment 働く環境は大切です。トイレや休憩所を更衣室等をしっかりと確保し、どこをどのように使えばよいかわかっておきましょう。 	も モラルを遵守しましょう Observe morals セクハラやパワハラ、モラハラ... 本人にはそんなつもりはなくても受取る側には大きな傷を与えます！「モラル」に田舎・都会は関係ありません。接する際には気に掛けましょう。 

農村型地域運営組織（農村RMO） 形成に向けた新たな取組

～ 藤里町粕毛地域【ふじさと粕毛地域活性化協議会】 ～

令和5年7月20日(木)

藤里町農林課 主査 加藤 祐也

農村型地域運営組織(農村RMO)形成に向けた新たな取組

藤里町粕毛地域【ふじさと粕毛地域活性化協議会】

現状と課題

粕毛地区は人口819人、高齢化率は47%と、高齢化と人口減少が著しい中山間地域である。今後の地域づくりに関する話し合いの中で、高齢化と後継者不足により農地の維持管理や地域の環境保全や冬期間の除排雪作業が困難になってきている。

<農用地保全>

高齢化と後継者不足により維持管理に苦勞している他、鳥獣被害もあることから、農用地も含めた里山の環境整備が必要である。

<地域資源活用>

当地域には、そば、木苺、鮎、イワナ、農家民宿などの地域資源が数多くあることから、これら地域資源を活用した新たなビジネスの創出等による活性化が必要。

<生活支援>

高齢化と後継者不足により地域の環境保全に苦勞している他、特に冬期間の除排雪作業に不安を抱える高齢者が多く存在する。

課題に対する対応・方針

住民が主体になって農家民宿4軒、1棟貸しの南白神ベース、農家レストランを活用して町外の多様な人たちと交流を深め、一緒に農地保全、農地を活用したそば、木苺や、新鮮な野菜など農産物生産と白神山地を源とする清流での鮎、白神山地の湧き水で養殖したイワナなどを活用した加工品づくり推進して収入を増やし、安心して生活できるように環境保全と生活支援を行い持続できる地域づくりをすなど・本郷地域の未利用施設を活用する。

<農用地保全>

ホタルの生息地の環境保全、農地を中心とした地域全体の生活環境保全を進める。里山の環境を整備して鳥獣被害を未然に防ぐために緩衝地帯を設けるなど、取組を拡充していく。

<地域資源活用>

農産物生産、そば、木苺、鮎、イワナなどの地域資源を活用し、地域特産物の加工品のブランド化、農家民宿、南白神ベースなどと連携して訪れる人たちとの交流を深め、様々な体験メニューを提供し地域経済を活性化させて、所得の向上と雇用機会の確保を進める。住民はもちろんだが、移住者、地域おこし協力隊などを巻き込んで、農家民宿と南白神ベースを拠点に農家レストランも活用して町外の人たちを呼び込み、様々な体験メニューを提供し地域を活性化するなど、粕毛地区全体の魅力をアップするための取り組みを行い持続化させる。

<生活支援>

地域の環境保全に努め、冬期間の除排雪作業などの不安を解消して住民が安心して生活するための生活支援などを行う。誰でも住み続けたいような郷づくりをする。

農村型地域運営組織(農村RMO)形成に向けた新たな取組

藤里町粕毛地域【ふじさと粕毛地域活性化協議会】

事業実施期間3年における年度別事業実施計画

1 年目 (令和5 年度)

- ・農地活用状況調査及び農地利活用計画の策定
- ・環境保全、生活支援等に関する地域住民のニーズ調査
- ・地域資源の活用、体験メニューの提供、集落課題等に関するワークショップの開催及び地域資源活用計画策定
- ・モニターツアーの開催
- ・地域環境保全のための草刈り、除排雪等に関する共助体制整備計画策定及び共助体制の整備に向けた実証（夏以降）



2 年目 (令和6 年度)

- ・地域資源の活用、体験メニューの提供等に関するモニターツアーの開催及び地域資源活用計画の更新
- ・地域環境保全のための草刈り、除排雪等に関する共助体制の整備に向けた実証及び共助体制整備計画の更新



3 年目 (令和7 年度)

- ・地域資源の活用、体験メニューの提供等に関するモニターツアーの開催及び地域資源活用計画の更新
- ・地域環境保全のための草刈り、除排雪等に関する共助体制の整備に向けた実証及び共助体制整備計画の更新

藤里町における伴走支援

<関係部署>

- ・総務課、農林課（今後の活動内容に応じて関係する部署が係わる仕組み）

<これまでの藤里町における取組>

- ・県営事業「未来へつなぐ元気な農山村創造事業」を活用し、将来ビジョン（元気な農山村創造プラン）を策定するにあたり、協議会立ち上げ前から打合せ等に参加。（R4は年度途中の補正予算にも対応）
- ・秋田県農山漁村プロデューサー養成講座AKITA RISEへ参加し、協議会の将来ビジョン策定のプロセスを共有。
- ・国事業「農村RMO形成推進事業」の実施に向けた打合せ等への参加、町内関係部署間の調整、事務手続き等を実施。
- ・協議会ワークショップ等への参加。

農村型地域運営組織(農村RMO)形成に向けた新たな取組

藤里町粕毛地域【ふじさと粕毛地域活性化協議会】における取組の概要

- 藤里町粕毛地域は、多面的機能支払交付金による取組で農地や施設を維持管理。
- 粕毛地域は「はなの民泊通り」として、農家民宿4軒、1棟貸し「南白神ベース」、農家レストランを活用し、町外の多様な人たちと交流を深めている。
- 令和4年度から移住者、地域おこし協力隊等と連係し、地域の活性化構想の策定を行った。
(「秋田県農山漁村プロデューサー養成講座(実践編計7回)」にも参加し、将来ビジョンを策定)
- 隣接する真土地域と連携し、農村集落の機能を補完する「農村RMO」の形成により、地域で支え合うむらづくりに挑戦。

農用地保全(構想)

●主たる活動者

多面的機能支払「粕毛地区環境保全会」

○環境保全

- ・農用地保全のほか、ホタルの生息地の環境保全
- ・里山環境を整備し、鳥獣被害防止のための緩衝帯の設置

○将来に向けた体制整備

- ・高齢化対策として、リモコン式や乗用式の草刈り機の導入及び作業体制整備による省力化
- ・ドローンを活用した除草、農薬散布の範囲調査による散布作業等の省力化



生活支援(構想)

●主たる活動者

藤里町社会福祉協議会

NPOふじさと元気塾

○生活支援の概要

リモコン式や乗用式の草刈り機、除雪機の活用により、地域の環境保全、冬期間の除排雪作業を行う共助体制の整備。



地域資源活用(構想)

●主たる活動者

NPOふじさと元気塾

ふじさと粕毛まちづくり協議会

粕毛農家民宿まちづくり協議会

地域おこし協力隊、移住者 など



白神山地の豊富な湧水

○地域資源を活用したブランド化、加工品づくり

- ・南白神の里ブランドを生かし、そば、木苺、鮎、イワナなどの加工・商品開発

○交流の場の創出

- ・農泊施設、農家レストラン等の交流拠点を活用し、体験メニューの提供など交流の場を創出



イワナ養殖池



交流拠点「南白神ベース」